

形名 HSE-3756GPXHTN HSE-3756GPXHTNE2

システム形名	HSE-3756GPXHTN	HSE-3756GPXHTNE2
仕様	一般地仕様	耐重塩害仕様
貯湯ユニット形名	HSET-3756GPXHTN	HSET-3756GPXHTNE2
ヒートポンプユニット形名	EHPE-458	EHPE-458E2

このたびは長府製品をお買い求めいただきまして
まことにありがとうございます。

●このヒートポンプ給湯機は電気料金の割引が適用されます。お買い求めの販売店にご相談のうえ、お早めに最寄りの電力会社にお申し出ください。

●ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書・取扱ガイド・試運転ガイドと共に必ず保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。

●保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。

●取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの工場・支店・営業所にご連絡ください。

●電力会社により昼夜間の時間帯区分が異なりますので、詳しい内容については最寄りの電力会社にお問い合わせください。

●製品改良により、本体・仕様等が説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

●耐重塩害仕様は、一般地域より腐食、劣化しやすい海浜地区などに設置するため、錆びにくい材料を使用したり、多重塗りをしています。

20610450

もくじ

ページ

ご使用の前に	特長	1
	特に注意していただきたいこと	3
	各部のなまえとはたらき	
	メインリモコン	11
	ふろリモコン	13
	外観図	15
	各種設定モード	17
	使用方法	
	現在時刻の設定	18
	契約電力制度の設定	19
給湯温度の設定	21	
沸き上げ設定	22	
沸き増し運転	27	
沸き増し停止	28	
数日間運転を停止する方法	29	
★(はれ)セーブ運転	30	
ふろ自動運転	31	
保温時間の設定	33	
ふろ予約運転	34	
高温たし湯運転	35	
たし湯運転	36	
さし水運転	37	
追だき運転	38	
ecoとく運転	39	
チャイルドロックの設定	40	
ナビ表示	41	
湯量モニター	42	
ecoみる表示	43	
積算値クリアのしかた	47	
おしらせ表示	48	
その他の設定	50	
インターホンの使いかた	57	
配管洗浄	62	
使用上の注意	64	
停電したとき	64	
地震などの被害があったとき	64	
長期間使用しない場合	65	
災害時などにお湯を取り出す	69	
凍結予防	70	
安全装置	70	
使 上 に お ね い	日常の点検・手入れ	71
	定期点検	74
故 障 か な ?	故障・異常の見分けかたと処置方法	
	サービスを依頼される前に	75
	エラーコード(警報)表示	77
	部品交換について	79
	仕様	79
アフターサービス	81	

特長

太陽熱利用自然冷媒ヒートポンプ給湯機とは

1 自然エネルギー(太陽熱)を利用してお湯を作ります。

- 太陽熱で沸かしたお得なお湯が使用できます。

2 地球環境にやさしい自然冷媒(CO₂)を使用しています。

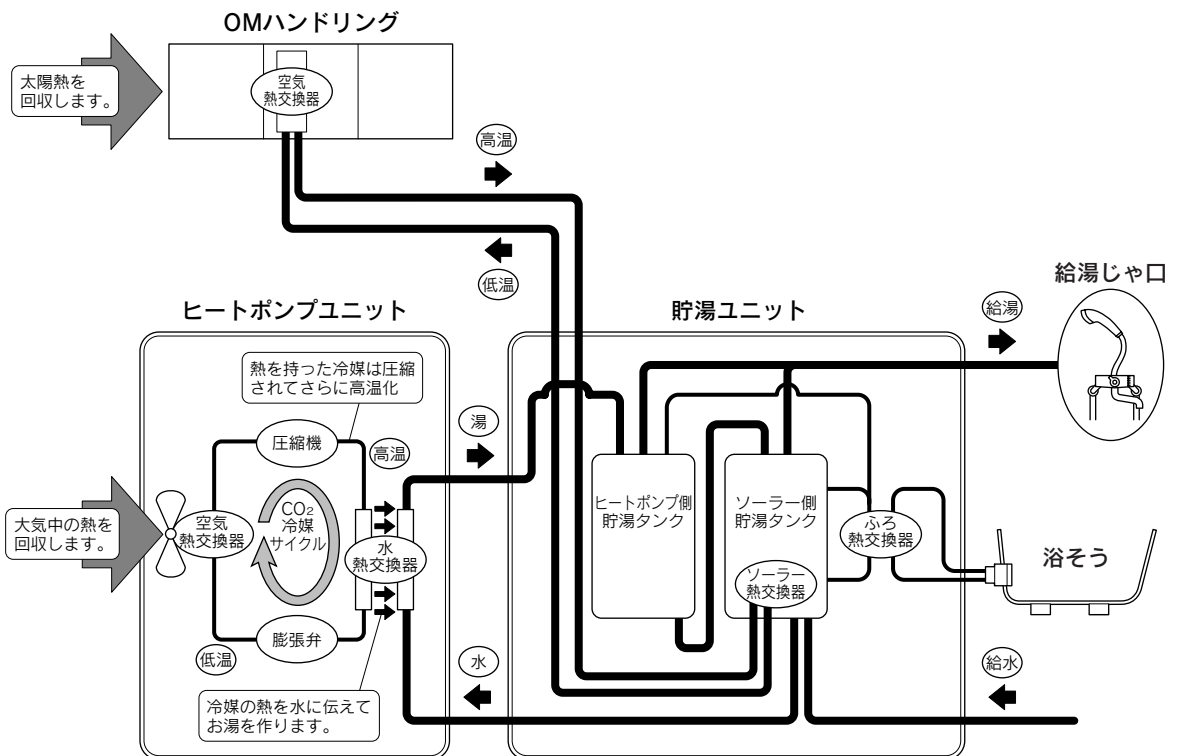
- オゾン層破壊係数はゼロです。(破壊しません。)
- 地球温暖化係数は従来冷媒の約 1/1700 です。

3 省エネ性に優れたヒートポンプ方式

- 大気中の熱を回収してお湯をつくるヒートポンプ方式です。
- 圧縮機により電気を効率よく利用するので、従来の電気温水器よりお得です。

4 火を使わない安全設計

- 火を使わず電気でお湯を沸かします。
- 電気ヒータなしで最高90℃のお湯を沸かせます。
- 断水時や万一の地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。



- 時間帯別電灯 / 季節別時間帯別電灯契約をすることで割安な夜間にお湯を沸き上げます。お湯が足りなくなったら昼間に効率よく沸き上げます。

便利な機能

— 選べる「沸き上げ設定」 —

日々の使用量を学習して、沸き上げ湯量を自動で設定する「おまかせ」設定と、お湯の使用状況に合わせて「多め」設定、「深夜のみ」設定を選択できます。

22～26 ページ 

— 「沸き増し停止」で省エネ —

「今日はもう少ししかお湯を使用しないので夜間電力時間帯までお湯を沸かさなくていい」、そんな日は「沸き増し停止」スイッチで昼間時間帯の沸き増しをストップできます。

28 ページ 

— 「☀(はれ)セーブ」運転 —

翌日が晴れでソーラーの集熱が期待できる場合などに使用します。夜間の沸き上げ量を少なくし、より多くのソーラー集熱ができるようにします。

30 ページ 

— 「eco とく」運転 —

浴そう内の残り湯の熱を回収して、貯湯タンク内のお湯を温めます。

39 ページ 

— 「ナビ」表示 —

あとどれくらいお湯が使えるか、毎日どれくらいお湯を使っているか(過去7日間)、現在の沸き上げ状態を表示します。

41 ページ 

— 「ecoみる」表示 —

節約度やCO₂削減量を表示してお知らせします。

43～46 ページ 


— 「おしらせ」表示 —

貯湯タンク内のお湯が少なくなったときに表示と音声でお知らせします。

48 ページ 

— インターホン機能 —

メインリモコンとふろリモコンで通話ができます。




57 ページ 

運転のしくみ









- (1)夜間時間帯になると給水温度、設定温度などにより、マイコンが所要通電時間を算出します。
- (2)所定の時間になるとヒートポンプユニットへ通電を開始します。
- (3)昼間の天気が良いときは太陽熱を集熱します。

特に注意していただきたいこと

- ご使用前に、この「特に注意していただきたいこと」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

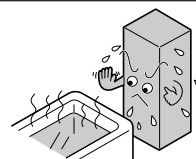
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

- 絵表示について次のような意味があります。

	一般的な禁止		一般的な危険・警告・注意		必ず行うこと
	接触禁止		高温注意		アースを接続すること
	分解禁止		感電注意		

危険(DANGER)

浴室内の設置禁止 (感電・事故の原因)



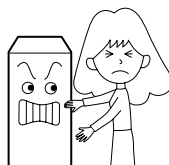
貯湯ユニットは浴室内に設置しないでください。

警告(WARNING)

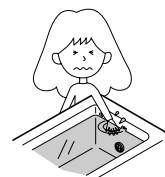
高温注意



シャワーを使用するときや、入浴するときは手で湯温を確かめてください。使用中はシャワー使用者以外お湯の温度を変更しないでください。突然熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出てびっくりすることがあります。また、貯湯ユニットは貯湯式のため停電中でも熱いお湯が出ることがあります。特に小さなお子様には注意してください。



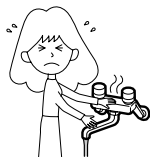
使用中は高温部に手など触れないでください。やけどをすることがあります。



沸き上げ中や沸き上げ直後は循環アダプターから熱い湯が出ますので、注意してください。また、浴そうの上部と下部で湯温に差がある場合がありますので、充分にかき混ぜてから手で湯温を確認してください。

警告(WARNING)

給湯時は混合水栓に手を触れない



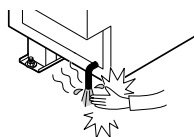
お湯を出しているときに混合水栓に触れると、やけどをすることがあります。

電源は単相 200V を使用する (火災・事故の原因)



電源は単相 200V で、専用回路が必要です。配線用遮断器(ブレーカ)、電線の太さなどは機器にあつたものを使用してください。

排水時は配管や排水に手を触れないで、 ゆっくり操作する



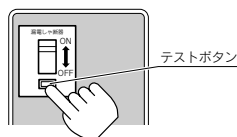
熱湯が勢よく出たり、ホースが熱くなりやけどをすることがあります。

周囲の確認 (火災の原因)



近くに灯油、ガス、ガソリンなど引火性のものを置かないでください。

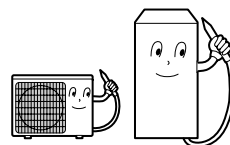
漏電遮断器の確認



漏電遮断器が故障したまま使用すると、漏電のときに感電の原因になります。「日常の点検・手入れ」に従って作動テストを行ってください。

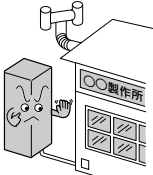
72 ページ

アースの確認



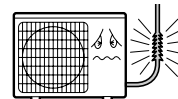
この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。

家庭用以外の使用禁止



この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。業務用に使用すると保証の対象外になります。

電源コードを破損させたり、加工したり、 傷んだまま、束ねたままで使用しない



重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると、破損して感電・火災の原因になります。

ヒートポンプユニットのフィンに触れたり、 空気吸込口・吹出口に手や棒を入れない



ファンが高速で回転していますので、けがの原因になります。

設置・移設・修理の注意

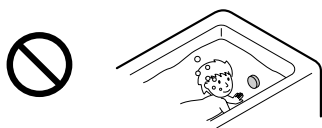


設置・移設・付帯工事・修理をする場合は必ずお問い合わせの販売店、またはお近くの工場・支店・営業所に依頼してください。
また、分解・改造を行わないでください。
火災・感電・事故の原因になります。

特に注意していただきたいこと

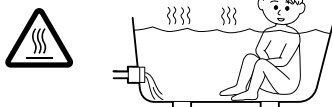
警告(WARNING)

子どもに注意



浴そうの循環口付近で、もぐったり、浴室で遊ばせないでください。思わぬ事故につながります。特に小さなお子様には注意してください。

高温たし湯運転をするときは、循環口から離れる



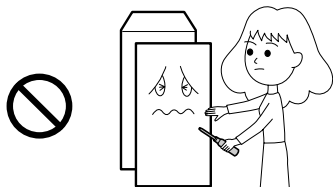
循環口から熱いお湯が出ますので、やけどのおそれがあります。

浴そうにお湯がないときは高温たし湯スイッチを押さない



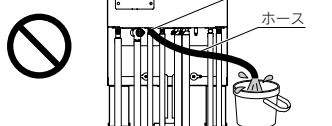
循環口から熱いお湯が出ますので、やけどのおそれがあります。浴そうや循環口のお手入れを行うときは、特に注意してください。

修理技術者以外は前パネル、ヒートポンプユニットのカバーをはずさない



感電のおそれがあります。

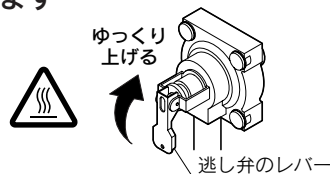
取水はお湯が冷めてから行う



熱湯が出たり、ホースが熱くなりやけどをすることがあります。

69 ページ

逃し弁のレバーが熱くなります



逃し弁のレバーは熱くなりますので、やけどに注意してください。また、レバーを急に上げると熱湯が出る場合がありますので、ゆっくり操作してください。

給湯温度を変更するときは、他の場所で使用していないことを確認してから行う

突然熱湯が出てやけどをすることがあります。



異常(こげ臭いなど)時は、200V電源ブレーカを「切」にし、お買い求めの販売店にご連絡ください。

異常のまま使用すると故障や感電・火災の原因になります。

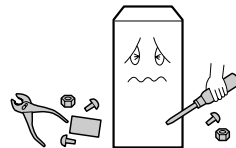


無理な力を加えない



貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの上ののったり、植木鉢等を置いたりしないでください。ケガ・変形・破損のおそれがあります。

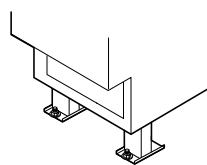
分解・修理・改造をしない (感電・漏電・火災の原因)



故障、破損したら、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。

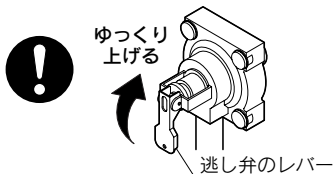
機器の固定確認 (事故の原因)

台風シーズンや強風が予想されるとき、地震の後は貯湯ユニットのアンカーボルトがゆるんでいないか確認してください。転倒すると危険です。



⚠️ 注意(CAUTION)

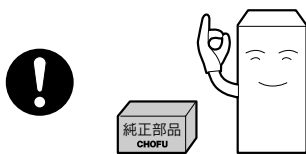
逃し弁の確認



逃し弁が故障したまま使用すると、事故の原因になります。「日常の点検・手入れ」に従って作動テストを行ってください。

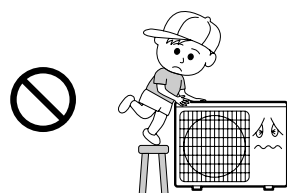
72 ページ

純正部品以外は使用しない (事故・故障の原因)



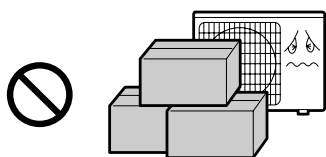
部品は必ず長府純正部品(指定された部品)を使用してください。

ヒートポンプユニットに乗ったり、ものをのせたり 配管に力を加えない



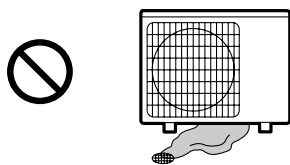
落下・転倒などによりけがや、やけどの原因になることがあります。

ヒートポンプユニットの吸込口や吹出口をふさがない



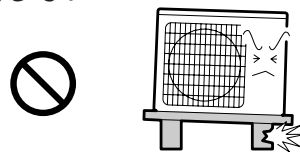
能力低下や故障の原因になることがあります。

ヒートポンプユニットの真下に濡れて困るものを置かない



ドレン水が出ます。

ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない



傷んだ状態で放置するとヒートポンプユニットの落下につながりけがの原因になります。

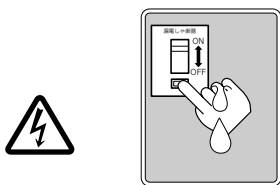
安全装置が作動したときは



安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。火災・事故の原因になります。

70 ページ

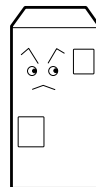
濡れた手危険



漏電遮断器のレバーを濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあり、危険です。

操作部・点検口のふたは閉じる

(ショート・感電・漏電の原因)



操作部・点検口のふたは開いたままにしないで、操作・点検の後は必ず閉じてください。

必ず正しい組み合わせで使用する (火災・事故の原因)



必ずこの取扱説明書に記載している正しい組み合わせで使用してください。他の製品と組み合わせないでください。

脚部カバーをはずした際の注意



脚部カバーをはずした場合、作業終了後には、化粧ねじをしっかりと締めてください。思わぬ事故の原因になります。

1 カ月以上使用しないときは機器の水抜きを行う



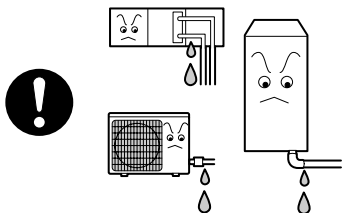
長期間使用しないと、水質が変化することがあります。

65～68 ページ

特に注意していただきたいこと

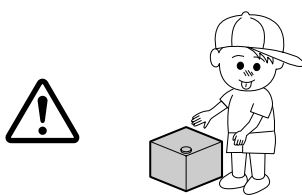
⚠️ 注意(CAUTION)

水漏れの点検



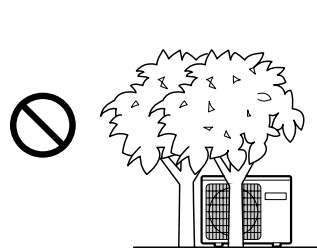
機器や配管から水漏れがないことを点検してください。事故の原因になります。

不凍液に注意



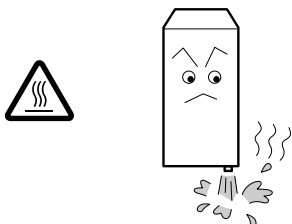
不凍液を万一飲んだ場合はすぐに吐かせ、すみやかに医師の診断を受けてください。

ヒートポンプユニットの風を動植物に直接当てない



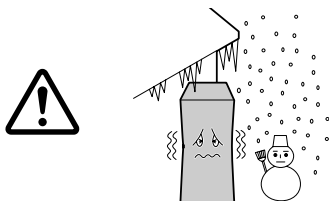
動植物に悪影響をおよぼす原因になります。

貯湯ユニット内部のお湯を排水するときは



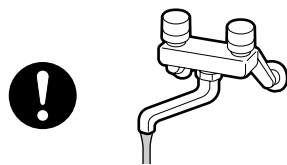
やけど防止や配管保護のために必ず冷めてから排水してください。冷めていないと高温水が排水される場合があります。

水抜きをしない場合、冬期は漏電遮断器のレバーを「OFF」にしない (故障の原因)



配管が凍結し、水漏れすることがあります。

用途に注意



家庭の給湯、シャワー以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。

ヒートポンプユニットは屋内に設置しない



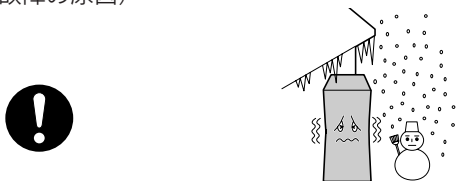
正常に沸き上がらないことがあります。

適用契約電力制度の設定を変更しない



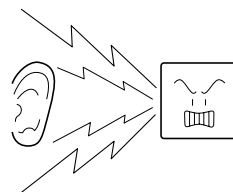
適用契約電力制度が合っていないと、思わぬ電気料金がかかることがあります。

配管の保温工事を確認する (故障の原因)



冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波のために機器や配管が凍結して破損することがあります。

リモコンに耳を近づけて使用しない



大きな音が出ることもあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。


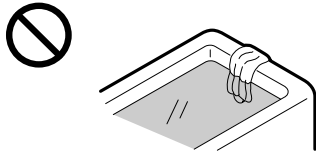
⚠️ 注意(CAUTION)

この機器は上水道用です

水道法に規定された水質基準に適合した水を使用してください。
 地下水・井戸水・温泉水を使用すると、水質によっては機器内に異物が付着し、
 水漏れ・故障の原因になります。また、ヒートポンプユニットの熱交換器に
 スケールが付着し、正常に沸き上がらなくなることがあります。
 この場合の修理は保証期間内でも有料となります。



お願い(NOTICE)

<p>湯切れについて</p>  <p>シャワーを使うときや洗いのをするときは、お湯をこまめに止めてください。 お湯を出したままにすると湯切れの原因になります。</p>	<p>循環口をふさがない (故障の原因)</p>  <p>浴そう循環口を手や足、タオルなどでふさがないでください。</p>	<p>循環口フィルタは必ずつける</p>  <p>循環口の形状は種類により異なります。 循環口フィルタをはずして使用しないでください。循環ポンプに髪の毛やゴミが詰まり故障の原因になります。</p>
<p>循環口フィルタの詰まりに注意</p>  <p>浴そうにミカンやレモン等を浮かべて使用しないでください。 またポプリ等を使用する場合は、袋などに入れて使用してください。 循環口に詰まると故障の原因になります。</p>	<p>空だき注意 (故障の原因)</p>  <p>追いだきをするときには循環口から 10cm以上 の水位を保ってください。</p>	<p>水質・入浴剤に注意</p>  <p>温泉水や、イオウ、酸、アルカリ、油分を含んだ入浴剤、洗剤は本体や配管、循環ポンプの腐食等の原因になりますので使用しないでください。</p>
<p>石けんの使用禁止</p>  <p>浴そう内では石けんやボディシャンプーを使用しないでください。次回使用時に泡が出たり、故障の原因になります。</p>	<p>混合水栓について</p>  <p>水栓は逆止弁付混合水栓で通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しないでください。</p>	 <p>特に浴室ではやけど防止のため、サーモスタット付混合水栓(通水抵抗の少ないもの)を使用してください。リモコンの設定温度は混合水栓の設定温度より高めにして使用してください。</p>

特に注意していただきたいこと

お願い(NOTICE)

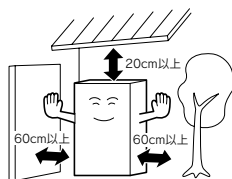
凍結予防について



冬期には凍結に充分注意し、凍結予防の処置を行ってください。

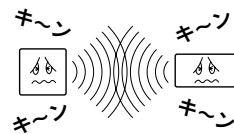
70 ページ

サービススペースの確保



機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。

リモコンの設置場所について



メインリモコンとふるリモコンの設置場所が近い場合、通話をするときハウリング(キーン等の大きな音がする現象)を起こすことがあります。そのような場合は、お買い求めの販売店に連絡して、リモコンの設置場所や向きを変更してください。

浴そうや洗面用具などのお手入れ

配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して浴そうや洗面用具などが青くなることがあります。使い始めに発生しやすく、時間の経過とともに発生しにくくなります。汚れを放置しますと取れにくくなりますので、こまめに掃除してください。汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を使用するか、つけ置き洗いをすると効果的です。その後、水で十分に洗い流してください。



飲用について



機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない。雑用水として使用してください。

飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず沸騰させてください。

- 必ず水道法に定められた飲用水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せず直ちに、お買い求めの販売店、またはお近くの工場・支店・営業所へ点検を依頼してください。

リモコンについて



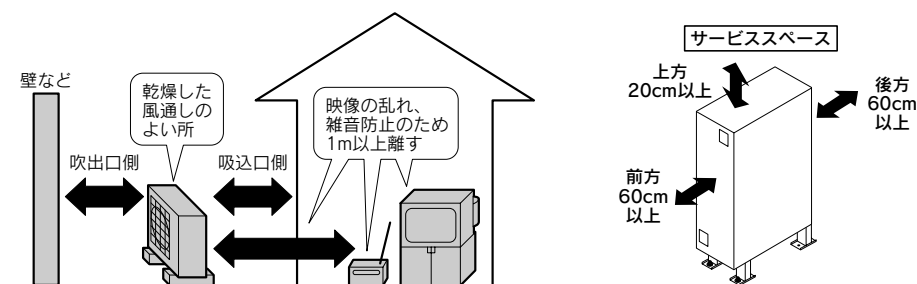
リモコンに故意に水やシャンプー等をかけないでください。マイクやスピーカーの穴に水がはいり、マイクの感度が落ちたり、スピーカーの音が聞こえにくくなったり、故障の原因になります。またお子様がいたずらしないように注意してください。故障・作動不良・音声異常の原因になります。リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。故障の原因になります。リモコンを掃除するときはシンナーやベンジン等を使用しないでください。変色・変形の原因になります。リモコンの使用環境温度は-10~60℃の範囲です。

設置場所について

- 設置場所に余裕がある場合は、できるだけ広い間隔をお取りください。
- ヒートポンプユニットからの排水は水はけのよい場所にしてください。

■設置場所は次のことを満たしていることを確認してください。

- 水平な場所
- 落下物の危険がない場所
- 周囲に可燃物や引火性のものがない場所
- 足場などを組まなければメンテナンスできない高所でない場所
- 階段、避難口から離れた場所



■次のような場所に設置されていないことを確認してください。

- 油・蒸気・油煙の発生する場所
- 温泉地などの硫化ガスの発生する場所
- アンモニアにさらされる場所
- 湿気の多い場所
- 積雪により、ヒートポンプユニットがふさがれてしまう場所
- 最低気温が -10°C を下回るような場所
- 海浜地区など塩分の多い場所…[耐重塩害仕様]は除く
- 人の出入りの多い場所、階段や避難口の近く
- 寝室の近くや運転音が隣家の迷惑になる場所
- 火気・引火物が近くにある場所

■運転音にも配慮を

次のような場所をお選びください。

- 貯湯ユニットの重量に充分耐え、騒音や振動が増大しない場所
- ヒートポンプユニットの吹出口からの風や運転音が隣家の迷惑にならない場所

■電気工事について

- 電源は必ず専用回路を設置してください。

■移設について

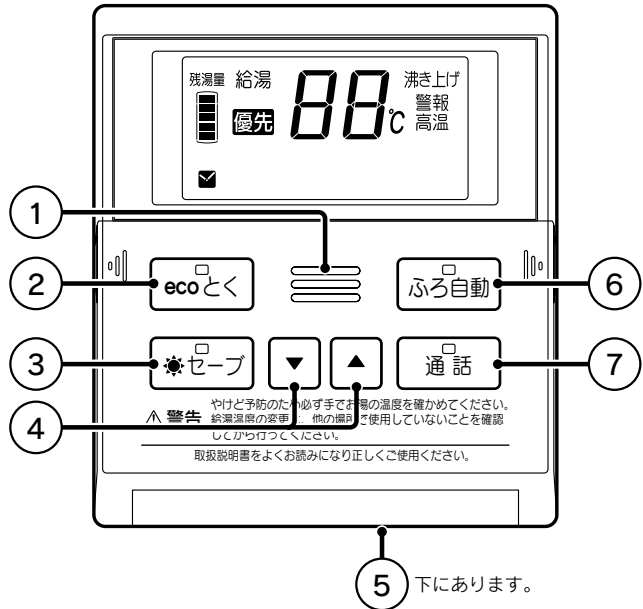
- 増改築・引っ越しなどで、製品を移設したり再据付けする場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

各部のなまえとはたらき

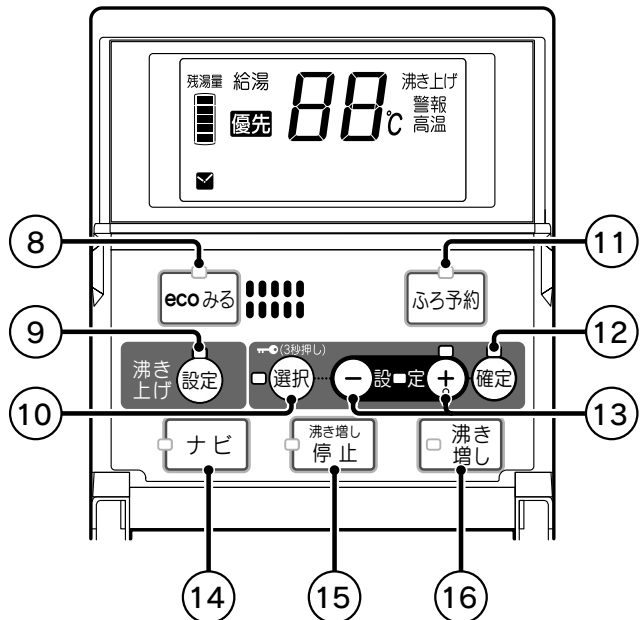
メインリモコン(CMR-2325P)

①スピーカー
ここから音声や音が出ます。
②ecoとくスイッチ[ecoとくランプ]
浴そうの残り湯の熱回収を開始、停止するときに押します。 点滅…熱回収の準備中です。 点灯…浴そうの残り湯の熱回収をしています。
③(はれ)セーブスイッチ[(はれ)セーブランプ]
翌日の天気が晴れてソーラー集熱での沸き上げが期待できる場合に、夜間の沸き上げ量を通常より少なくし、より多くのソーラー集熱をできるようにしたいときに押します。
④給湯温度調節スイッチ
給湯温度を調節するときに押します。優先表示が点灯しているときのみに給湯温度の調節ができます。 □…温度が高くなります。 ▽…温度が低くなります。 温度調節範囲…約32～60℃ 32℃・35℃・37～50℃(1℃ごと)・55℃・60℃に設定できます。
⑤マイク
通話するときに使います。
⑥ふろ自動スイッチ[ふろ自動ランプ]
ふろ自動運転するときに押します。 点滅…保温運転中です。 点灯…お湯はり中です。
⑦通話スイッチ[通話ランプ]
ふろリモコンと通話するときに押します。
⑧ecoみるスイッチ[ecoみるランプ]
給湯使用量、ソーラー利用率、節約量、CO ₂ 削減量を表示するときに押します。
⑨沸き上げ設定スイッチ[沸き上げ設定ランプ]
沸き上げ設定を変更するときに押します。
⑩選択スイッチ
設定モードを設定するときに押します。 17ページ ▶ 約3秒間押し続けるとチャイルドロックの設定、解除ができます。 40ページ ▶
⑪ふろ予約スイッチ[ふろ予約ランプ]
ふろ自動運転を予約するときに押します。 点灯…ふろ自動運転を予約中です。
⑫確定スイッチ
設定モードの内容を確認するときに押します。
⑬設定スイッチ
設定モードの内容を変更するときに押します。 +…設定値を進めます。 -…設定値を戻します。
⑭ナビスイッチ[ナビランプ]
使用可能湯量・使用湯量の履歴・湯量モニタを確認するときに押します。
⑮沸き増し停止スイッチ[沸き増し停止ランプ]
昼間時間帯の沸き増しを停止するときに押します。
⑯沸き増しスイッチ[沸き増しランプ]
沸き増しをするときに押します。

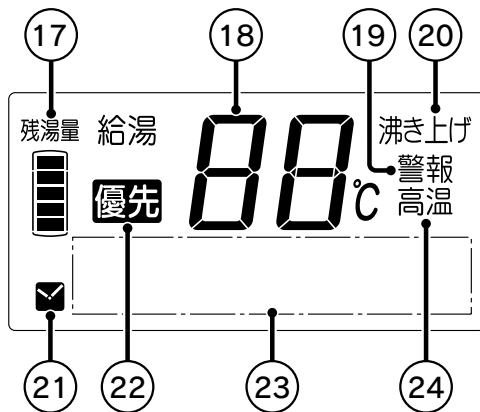
ふたを閉じた状態です。



ふたを開いた状態です。



表示部



- 表示部は説明のためのもので実際とは異なります。
- 表示部のバックライトは通常は白色ですが、ソーラ集熱運転中とecoとく運転中は橙色になります。
- ※表示部の表示色が「標準」の場合 [53ページ](#)

⑰残湯量表示	貯湯タンク内のお湯の量を表示します。
⑱給湯温度表示	給湯設定温度を表示します。
⑲警報表示	異常時に点滅して異常をお知らせします。
⑳沸き上げ表示	ヒートポンプユニットによる沸き上げ中に表示します。
㉑ふる予約表示	ふる自動運転の予約中に表示します。
㉒優先表示	この表示が表示しているときのみ給湯温度の調節ができます。
㉓ドット表示	現在時刻、ecoみる表示の内容、設定モード等で設定した内容、エラーコード等を表示します。 77・78ページ
㉔高温表示	給湯設定温度を55℃以上にしたときに表示します。

ディスプレイの特性について

- 液晶ディスプレイは表示内容やコントラスト調整などにより明るさにムラが生じる場合がありますが故障ではありません。
- 液晶ディスプレイの画面を正面以外から見ると表示色が変わって見える場合がありますが故障ではありません。
- 液晶ディスプレイは室温が下がると、ゆっくり表示が切り替わることがありますが故障ではありません。

残湯量のめやす

- 残湯量表示は45℃以上のお湯の量を表示します。

残湯量

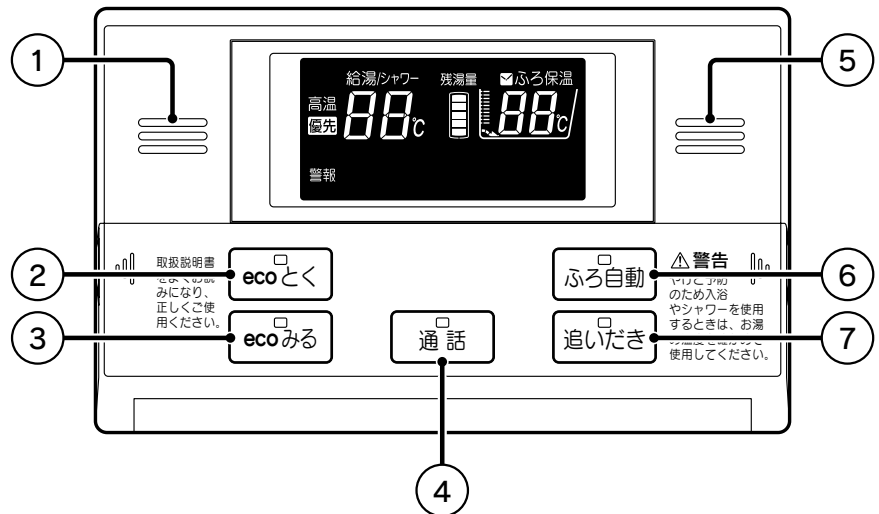


各部のなまえとはたらき

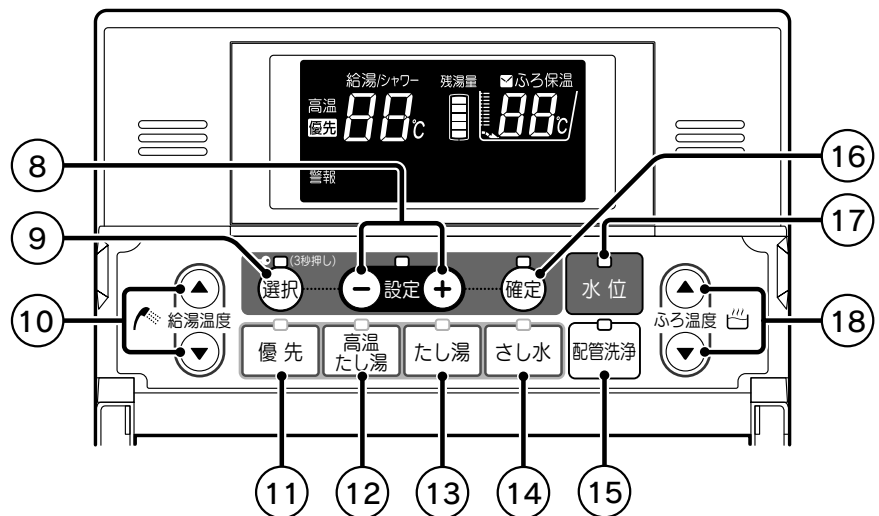
ふろリモコン(YST-2324P)

①スピーカー
ここから音声や音が出ます。
②ecoとくスイッチ [ecoとくランプ]
浴そうの残り湯の熱回収を開始、停止するときに押します。 点滅…熱回収の準備中です。 点灯…浴そうの残り湯の熱回収をしています。
③ecoみるスイッチ [ecoみるランプ]
ソーラー利用率を表示するときに押します。
④通話スイッチ [通話ランプ]
メインリモコンと通話するときに押します。
⑤マイク
通話するときに使います。
⑥ふろ自動スイッチ [ふろ自動ランプ]
ふろ自動運転するときに押します。 点滅…保温運転中です。 点灯…お湯はり中です。
⑦追いだきスイッチ [追いだきランプ]
追いだきするときに押します。 点灯…追いだき運転中です。
⑧設定スイッチ
設定モードの内容を変更するときに押します。 +…設定値を進めます。 -…設定値を戻します。
⑨選択スイッチ
設定モードを設定するときに押します。 17ページ ▶ 約3秒間押し続けるとチャイルドロックの設定、解除ができます。 40ページ ▶
⑩給湯温度調節スイッチ
給湯温度の調節をするときに押します。 優先表示が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。 ⊕…温度が高くなります。 ⊖…温度が低くなります。 温度調節範囲…約32~60℃ 32℃・35℃・37~50℃ (1℃ごと)・55℃・60℃ に設定できます。

ふたを閉じた状態です。

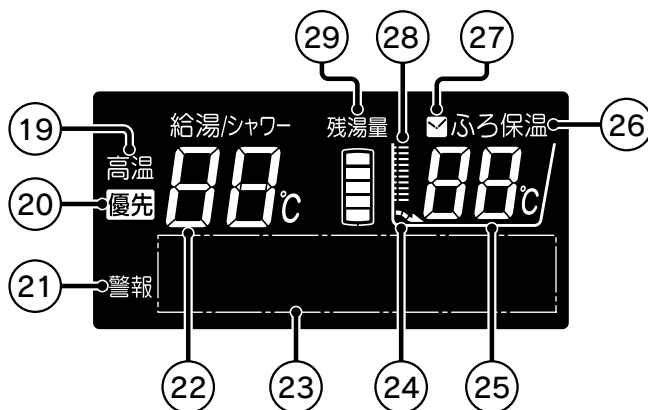


ふたを開けた状態です。



<p>⑪優先スイッチ 〔優先ランプ〕</p> <p>ふろリモコンで給湯温度を調節するときに押します。このランプが点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。</p>
<p>⑫高温たし湯スイッチ 〔高温たし湯ランプ〕</p> <p>浴そうに高温たし湯するときに押します。点灯…高温たし湯運転中です。</p>
<p>⑬たし湯スイッチ 〔たし湯ランプ〕</p> <p>浴そうにたし湯するときに押します。点灯…たし湯運転中です。</p>
<p>⑭さし水スイッチ 〔さし水ランプ〕</p> <p>浴そうにさし水するときに押します。点灯…さし水運転中です。</p>
<p>⑮配管洗浄スイッチ 〔配管洗浄ランプ〕</p> <p>配管洗浄をするときに押します。点灯…配管洗浄中です。 62・63ページ</p>
<p>⑯確定スイッチ</p> <p>設定モードの内容を確定するときに押します。</p>
<p>⑰水位スイッチ 〔水位ランプ〕</p> <p>ふろ自動運転で、浴そうの水位(お湯はり量)を設定するときに押します。押すと水位(お湯はり量)が変更できます。</p>
<p>⑱ふろ温度調節スイッチ</p> <p>ふろ自動運転、追いだき運転、たし湯運転の温度を調節するときに押します。 ☉…温度が高くなります。 ⊙…温度が低くなります。 温度調節範囲…約35~48℃ 1℃ごとに設定できます。</p>

表示部



<p>⑱高温表示</p> <p>給湯設定温度を55℃以上にしたときに表示します。</p>	<p>⑳お湯はり表示</p> <p>ふろ自動運転やたし湯運転、さし水運転等で浴そうにお湯・水を入れているときに点滅します。</p>
<p>㉑優先表示</p> <p>この表示が表示しているときのみ給湯温度の調節ができます。</p>	<p>㉒ふろ温度表示</p> <p>ふろ温度(沸き上げ温度)を表示します。</p>
<p>㉓警報表示</p> <p>異常時に点滅して異常をお知らせします。</p>	<p>㉔保温表示</p> <p>保温中に表示します。</p>
<p>㉕給湯温度表示</p> <p>給湯設定温度を表示します。</p>	<p>㉖ふろ予約表示</p> <p>ふろ自動運転の予約中に表示します。</p>
<p>㉗ドット表示</p> <p>現在時刻、ecoみる表示の内容、設定モード等で設定した内容、エラーコード等を表示します。 77・78ページ</p>	<p>㉘水位表示</p> <p>ふろ自動運転で設定した浴そうの水位を表示します。</p>
<p>㉙残湯量表示</p> <p>貯湯タンク内のお湯の量を表示します。</p>	

●表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

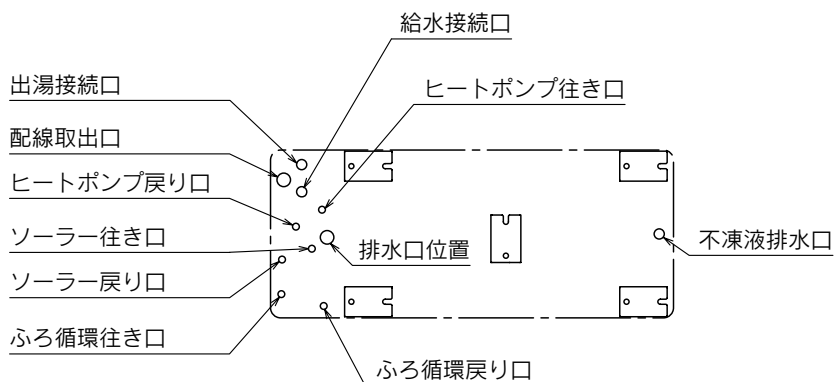
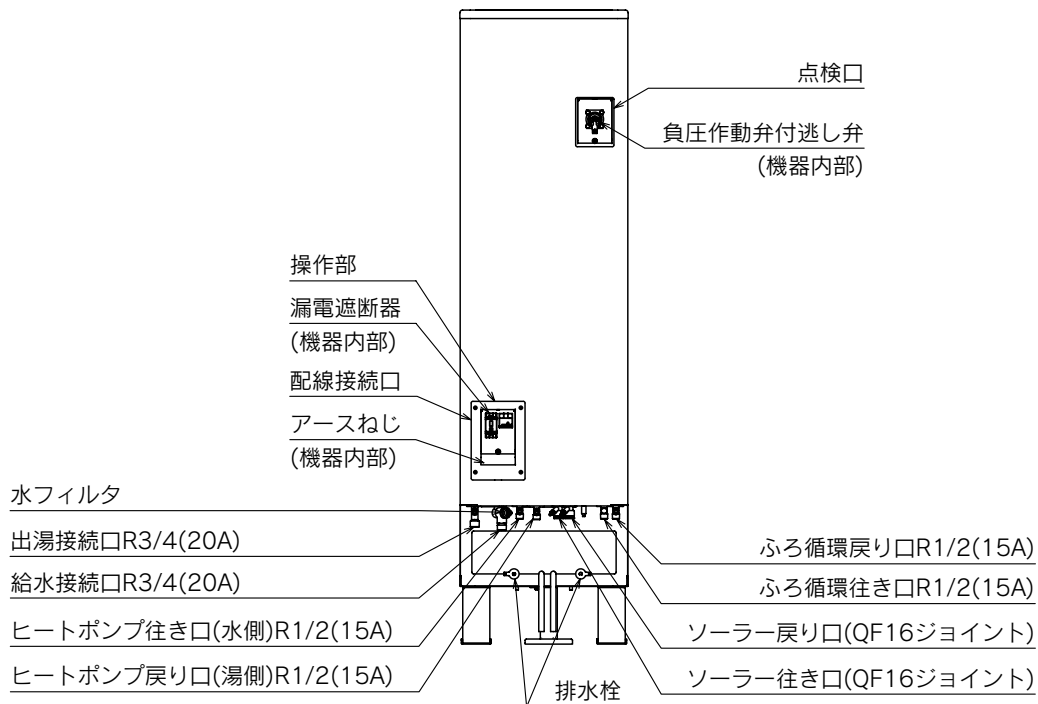
ディスプレイの特性について

- 液晶ディスプレイは表示内容やコントラスト調整などにより明るさにムラが生じる場合がありますが故障ではありません。
- 液晶ディスプレイの画面を正面以外から見ると表示色が変わって見える場合がありますが故障ではありません。
- 液晶ディスプレイは室温が下がると、ゆっくり表示が切り替わることがありますが故障ではありません。

各部のなまえとはたらき

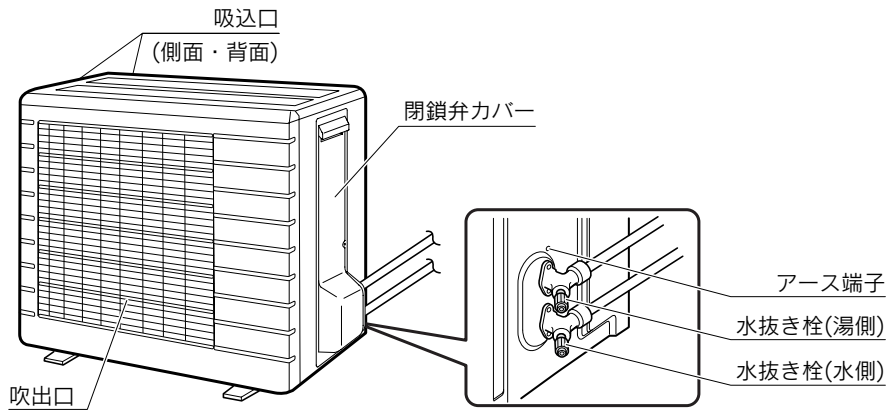
●外観図

貯湯ユニット



機器上方よりの透視図

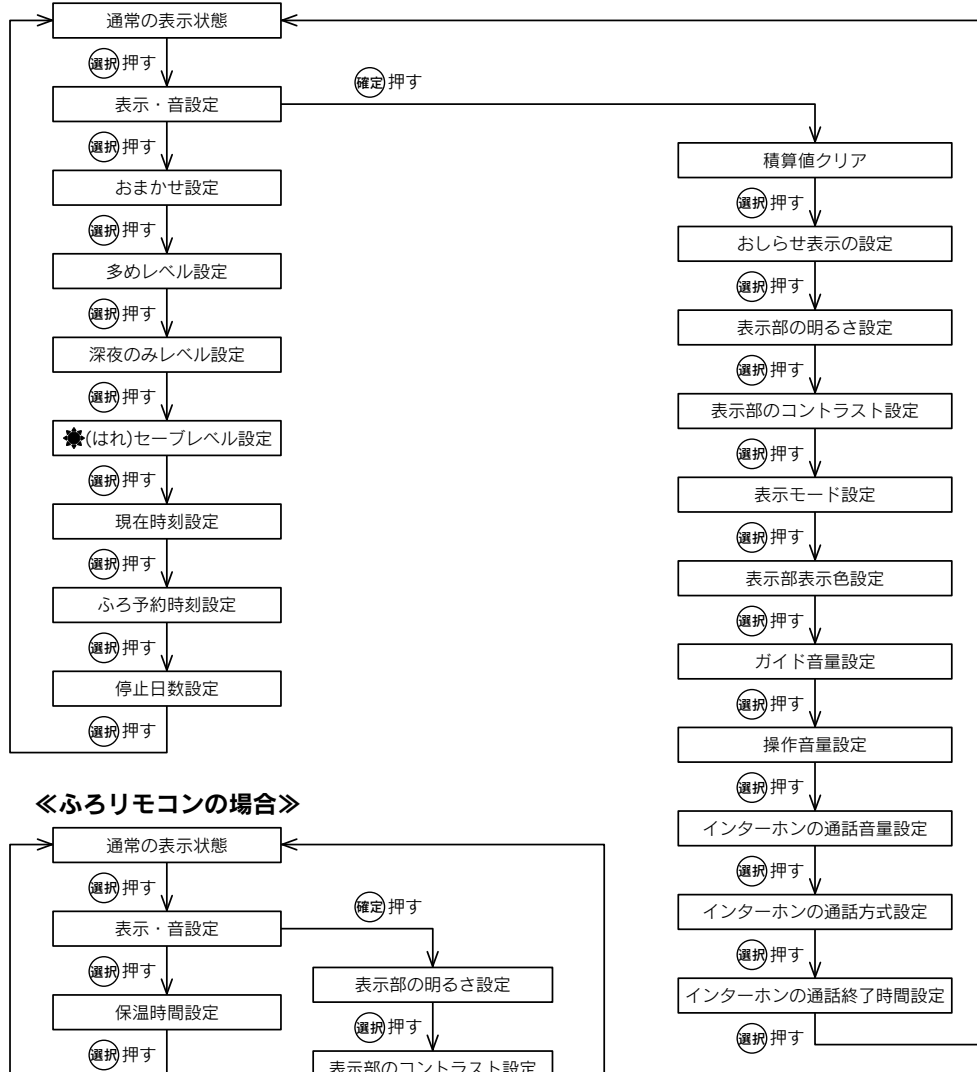
ヒートポンプユニット



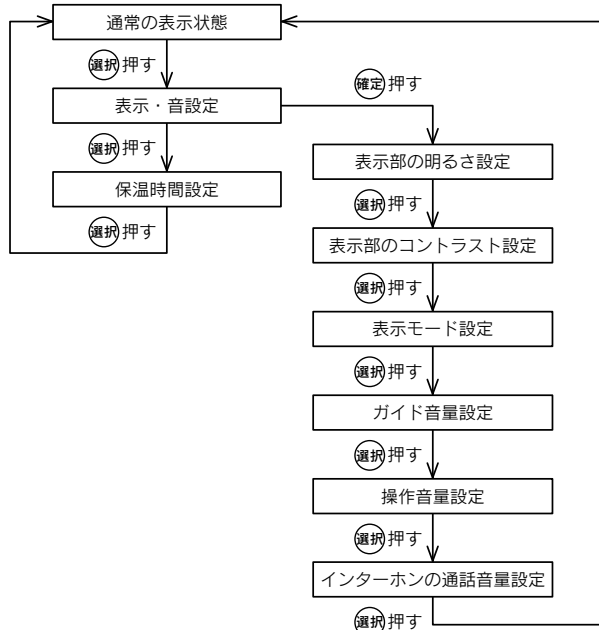
各種設定モード

● 選択スイッチ、確定スイッチを操作することで、下記の設定モードを表示します。

《メインリモコンの場合》

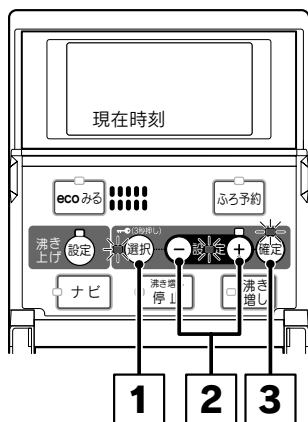


《ふるリモコンの場合》

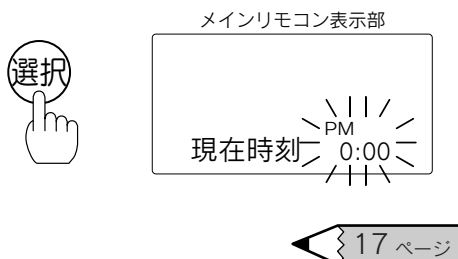


使用方法

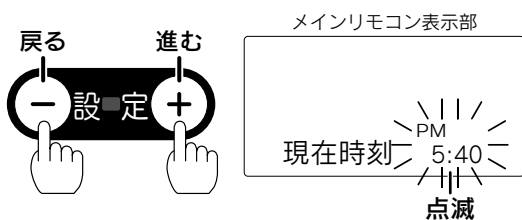
現在時刻の設定



1 メインリモコンの選択スイッチ \square 1を数回押して「現在時刻」を表示させる

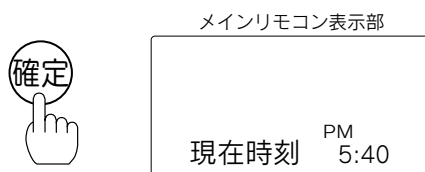


2 設定スイッチ \square 2を押す



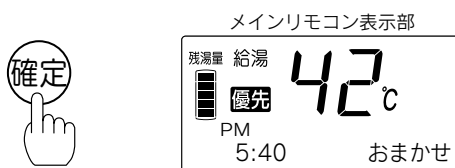
現在時刻を合わせます。
1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

3 確定スイッチ \square 3を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチ \square 3を押す



通常の表示に戻ります。
30秒経過またはふたを閉じることで通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 停電した後は現在時刻が合っているか確認してください。
- 現在時刻が合っていないと昼夜の判断が正しく行われず、電気料金が割高になることがあります。(AMは午前、PMは午後です。)
- この貯湯ユニットは学習機能により、最適な時間帯を選んでソーラー集熱運転を行います。必ず現在時刻の設定を行ってください。

契約電力制度の設定

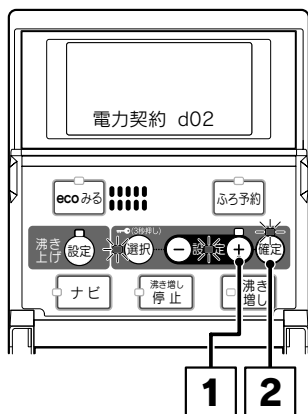
- この機器は申請により、通電制御型として電気料金の割引が適用されます。

⚠注意

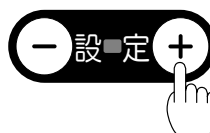
すでに契約電力制度に合わせて設定されている場合は変更しないでください。
通常、据え付け時に設定しています。
適用契約電力制度が合っていないと、思わぬ電気料金がかかることがあります。

■契約電力制度の設定方法

- 電源が入っていない状態では、契約電力制度の設定はできません。



1 メインリモコンの設定 スイッチの⊕**1**を5秒 間押し続ける



メインリモコン表示部

電力契約 d01

ドット表示部に「電力契約 d01」を表示します。

2 設定スイッチの⊕**1**を 押して契約電力制度を 選ぶ



メインリモコン表示部

電力契約 d02

押すごとに切り替わります。

3 確定スイッチ**2**を押す



メインリモコン表示部



通常の表示に戻ります。
30秒経過またはふたを閉じることで通常の表示に戻ります。

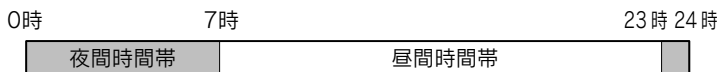
■契約電力制度の確認方法

1. メインリモコンの設定スイッチの⊕を5秒間押し続ける。ドット表示部に契約電力制度を表示します。
2. 30秒経過またはふたを閉じることで通常の表示に戻ります。

■契約電力制度の内容

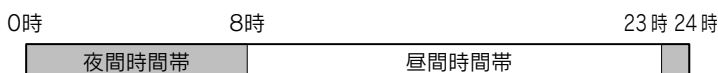
〔d01〕表示(工場出荷時)

北海道電力…ドリーム8B
 東北電力…やりくりナイト8
 東京電力…おトクなナイト8
 北陸電力…エルフナイト8
 中部電力…タイムプラン
 四国電力…電化Deナイト
 関西電力
 四国電力
 九州電力
 沖縄電力 } …時間帯別電灯
 (8時間型)



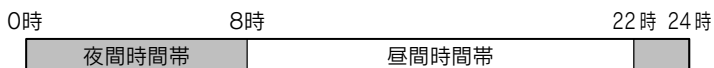
〔d02〕表示

中国電力…エコノミーナイト
 (時間帯別電灯)



〔d03〕表示

東北電力…やりくりナイト10
 東京電力…おトクなナイト10
 北陸電力…エルフナイト10
 九州電力…よかナイト10



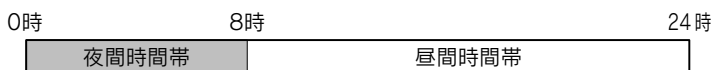
〔d04〕表示

北海道電力…ドリーム8A



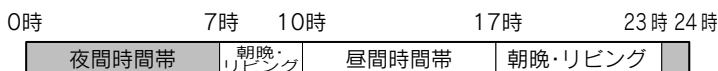
〔d05〕表示

北海道電力…ドリーム8C



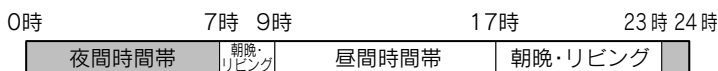
〔h01〕表示

東京電力…電化上手
 関西電力…はびeタイム
 沖縄電力…Eeらいふ



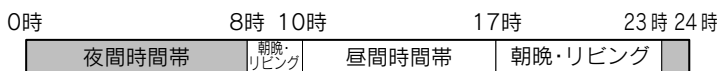
〔h02〕表示

中部電力…Eライフプラン



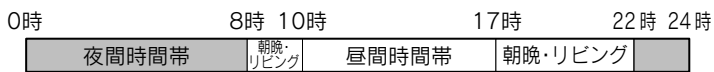
〔h03〕表示

中国電力…ファミリータイム



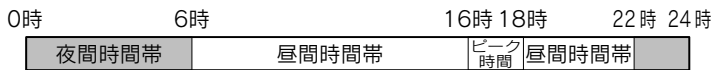
〔h04〕表示

九州電力…電化Deナイト
 北陸電力…エルフナイト10プラス



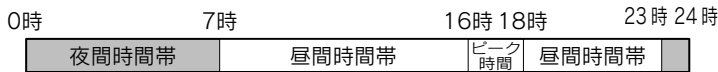
〔h05〕表示

北海道電力…ドリーム8エコA



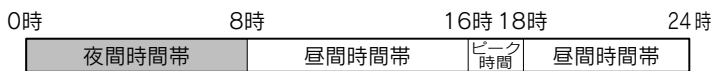
〔h06〕表示

北海道電力…ドリーム8エコB



〔h07〕表示

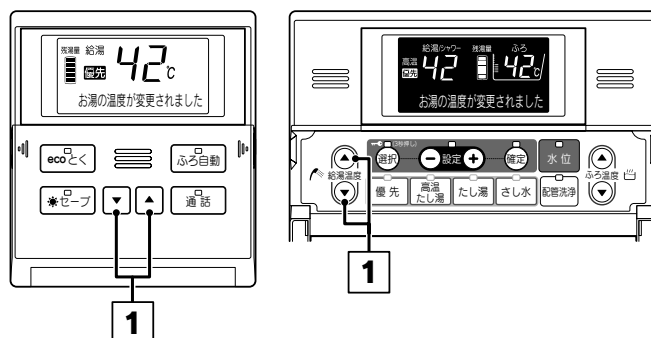
北海道電力…ドリーム8エコC



ドリーム8エコのピーク時間は冬期間(12月~3月)のみです。
 その他の期間(4月~11月)はピーク時間の設定はありません。

- 契約している電力制度の内容については、各電力会社へお問い合わせください。
- 上記に当てはまるものがない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

給湯温度の設定

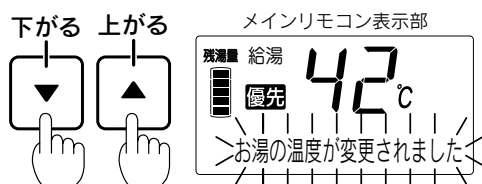


警告

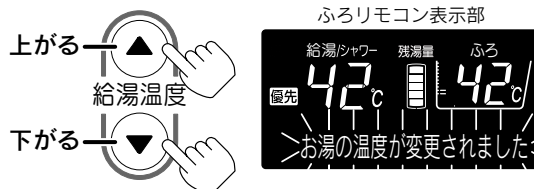
給湯温度を変更するときは、他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。シャワーを使用中に給湯温度を変更しないでください。突然熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。

給湯温度調節スイッチ①を押す

＜メインリモコンの場合＞



＜ふろリモコンの場合＞



優先表示が点灯しているリモコンで約 32～60℃の範囲で調節できます。
32℃、35℃、37～50℃までは1℃ごとに、50～60℃までは5℃ごとに設定できます。

給湯温度を 32～50℃に設定すると、音声で「お湯の温度が変更されました」とお知らせし、ドット表示部に「お湯の温度が変更されました」と表示します。

給湯温度を 55℃以上に設定すると、音声で「お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます」とお知らせし、高温表示が点灯します。ドット表示部に「お湯の温度が変更されました」「あついお湯が出ます」と表示します。

ふろリモコンの優先スイッチを「切」にすると、メインリモコンに「優先」が移動します。

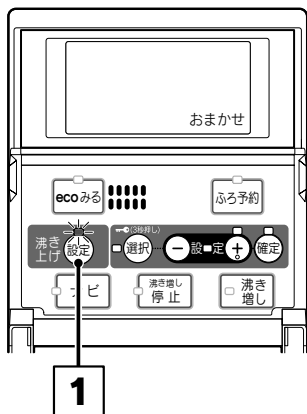
お知らせ

●追いだき運転をすると高温出湯できない場合があります。

沸き上げ設定

- 工場出荷時は省エネ推奨モードの「おまかせ[省エネ]」に設定しています。
- 通常は「おまかせ[省エネ]」での使用をおすすめします。
- ☀️(はれ)セーブ運転は沸き上げ設定を「おまかせ」にしているときのみ受け付けます。

30 ページ 



メインリモコンの沸き上げ設定 スイッチ①を押す



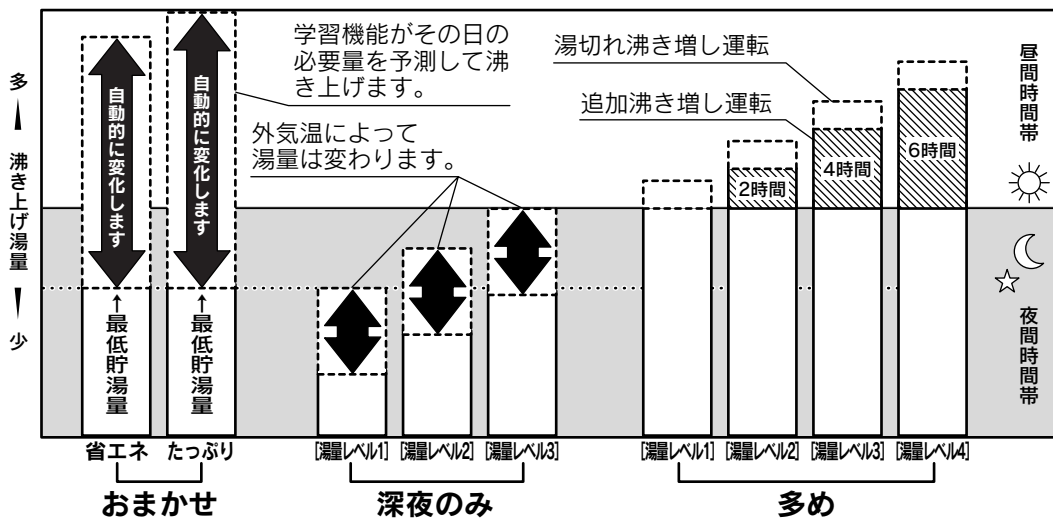
希望の沸き上げ設定に合わせます。

→おまかせ→多め→深夜のみ→ の順で変更されます。

設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
30秒経過またはふたを閉じることで、通常表示に戻ります。

沸き上げ設定	特長	こんなときに	沸き上げ運転を行う時間帯
おまかせ	日々のお湯の使用量を学習して、沸き上げ湯量を自動で設定します。	通常は「おまかせ」での使用をおすすめします。 ☀️(はれ)セーブ運転をする場合	昼間時間帯 と 夜間時間帯
多め	昼間時間帯の沸き増し湯量を4段階で設定できます。	いつもよりたくさんお湯を使いそうな場合	
深夜のみ	夜間時間帯のみ沸き上げを行います。 湯切れしないように注意してください。	普段からあまりお湯を使用しない場合	夜間時間帯

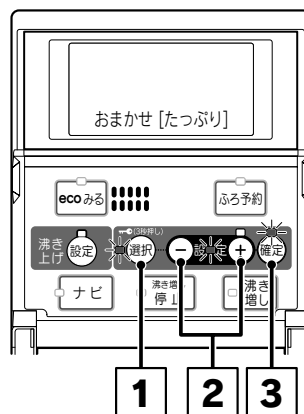
- 昼間時間帯の沸き上げは昼間電力で沸き上げますので、電気料金は割高になります。



沸き上げ設定と沸き上げ湯量の関係

■「おまかせ」設定について

- 「おまかせ」の湯量レベルは2段階の設定ができます。
工場出荷時は「省エネ」に設定しています。「省エネ」でお湯が不足するときは、設定を「たっぷり」に変更してください。
- 沸き上げ設定を「おまかせ」にしないと、湯量レベルの設定変更は反映されません。
- 沸き上げ設定を「おまかせ」にしないと、☀️(はれ)セーブ運転を受け付けません。

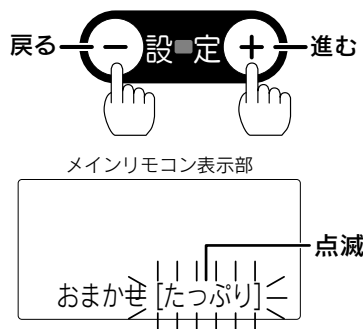


1 メインリモコンの選択スイッチ①を数回押して「おまかせ」を表示させる



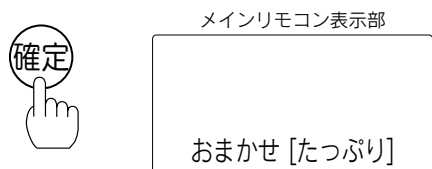
17 ページ

2 設定スイッチ②を押す



希望の沸き上げに合わせて。
→省エネ ↔ たっぷり← の順で変更されます。

3 確定スイッチ③を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチ③を押す



通常の表示に戻ります。
30秒経過またはふたを閉じることで通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 朝の時点で残湯量表示が全点灯しない場合があります。
また、少ないお湯の使用量で残湯量表示が1目盛り消灯する場合があります。

■「多め」設定について

- 「多め」の湯量レベルは4段階の設定ができます。工場出荷時は「4」に設定しています。
- 「多め」はお湯の使用に応じて以下の運転を行います。
《追加沸き増し運転》
昼間時間帯にお湯を使用すると、自動的に使用した量のお湯を追加で沸き上げます。最長で6時間の追加沸き上げ運転を行います。

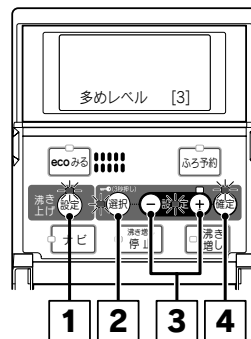
湯量レベル	沸き上げ温度	夜間沸き上げ湯量	追加沸き増し	湯切れ沸き増し
4	約75 ~85℃ (※)	370L	6時間	150L
3			4時間	150L
2			2時間	50L
1			なし	50L

※外気温によって沸き上げ温度は変わります。

《湯切れ沸き増し運転》

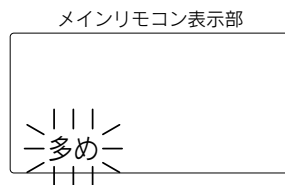
急な来客などで多量にお湯を使用し、残湯量が設定された湯量以下になると昼間時間帯に自動的に沸き上げを行い、湯切れを防止します。

- 用途 湯量レベル4または3…急な来客等でお湯を多量に使用するとき
湯量レベル2または1…「深夜のみ[湯量レベル3]」ではお湯が不足するとき
- 沸き上げ設定を「多め」にしないと、湯量レベルの設定変更は反映されません。

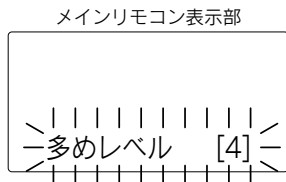


1 メインリモコンの沸き上げ設定スイッチ①を押して「多め」に設定する

設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。30秒経過またはふたを閉じることで、通常の表示に戻ります。

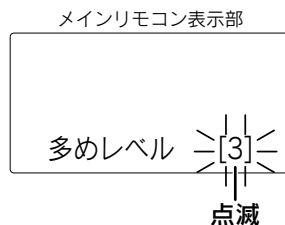
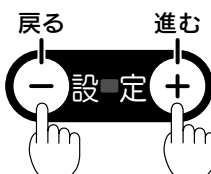


2 メインリモコンの選択スイッチ②を数回押して「多めレベル」を表示させる



17ページ

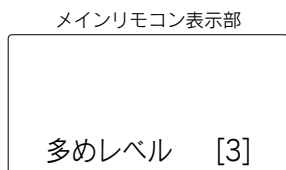
3 設定スイッチ③を押す



希望の湯量レベルに合わせます。

4 ⇄ 3 ⇄ 2 ⇄ 1 の順で変更されます。
(最高)(高)(中)(低)

4 確定スイッチ④を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

5 再度、確定スイッチ④を押す



通常の表示に戻ります。30秒経過またはふたを閉じることで通常の表示に戻ります。

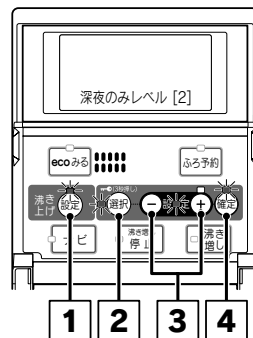
■「深夜のみ」設定について

- お得な夜間時間帯のみ沸き上げを行います。
- 「深夜のみ」の湯量レベルは3段階の設定ができます。
工場出荷時は「3」に設定しています。

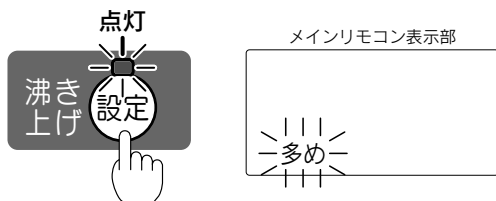
湯量レベル	沸き上げ温度	夜間沸き上げ湯量	追加沸き増し	湯切れ沸き増し
3	約75~85℃(※)	230~370L	なし	なし
2	約65℃			
1	約65℃	150~300L		

※外気温によって沸き上げ温度・湯量は変わります。

- 用途 湯量レベル3…「多め[湯量レベル1]」ではお湯が余り気味のとき
湯量レベル2…「深夜のみ[湯量レベル3]」ではお湯が余り気味のとき
湯量レベル1…お湯の使用量が非常に少ないとき
- 沸き上げ設定を「深夜のみ」にしないと、湯量レベルの設定変更は反映されません。

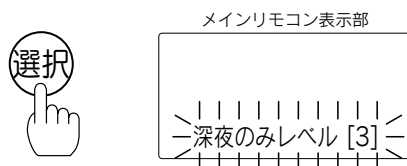


1 メインリモコンの沸き上げ設定スイッチ①を押して「深夜のみ」に設定する



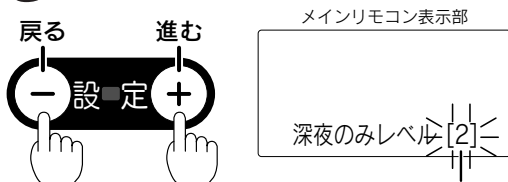
設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
30秒経過またはふたを閉じることで、通常の表示に戻ります。

2 メインリモコンの選択スイッチ②を数回押して「深夜のみレベル」を表示させる



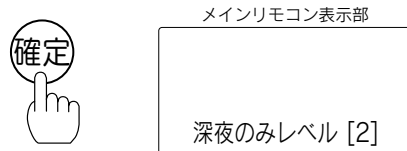
17 ページ

3 設定スイッチ③を押す



希望の湯量レベルに合わせます。
3 ⇄ 2 ⇄ 1 の順で変更されます。
(高)(中)(低)

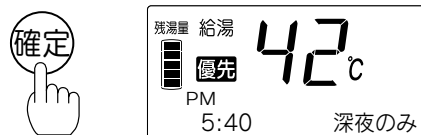
4 確定スイッチ④を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

5 再度、確定スイッチ④を押す

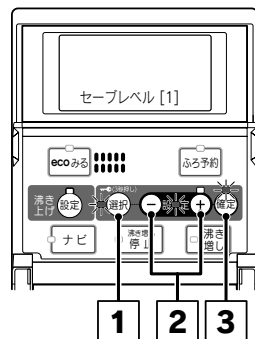
通常の表示に戻ります。
30秒経過またはふたを閉じることで通常の表示に戻ります。



■「☀️(はれ)セーブ」のレベル設定について

- 「☀️(はれ)セーブ」のレベルは2段階の設定ができます。
通常は工場出荷時の「セーブレベル2」での使用をおすすめします。

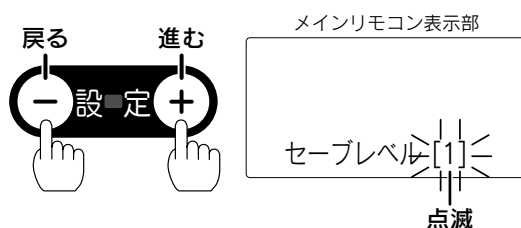
セーブレベル	内 容
2	日々のお湯の使用量とソーラー集熱量から夜間の沸き上げ湯量を決定します。
1	夏期など「セーブレベル2」でもお湯が余るときに使用します。



1 メインリモコンの選択スイッチ①を数回押して「セーブレベル」を表示させる

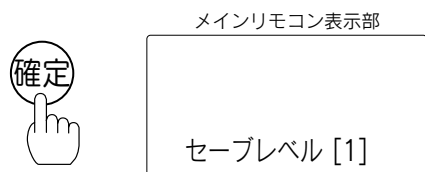


2 設定スイッチ②を押す



希望のセーブレベルに合わせます。
1 ↔ 2 の順で変更されます。

3 確定スイッチ③を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチ③を押す



通常の表示に戻ります。
30秒経過またはふたを閉じることで通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 夜間時間帯の沸き上げ湯量を制限しますので、朝の時点の残湯量表示が通常より少なくなり、少ないお湯の使用量で残湯量表示が消灯する場合があります。
- ソーラー集熱を行ってリモコンに残湯量表示をしている場合でも、ヒートポンプ側貯湯タンク内の温度が追いつきができるほど高くない場合は、追いつき運転を受け付けられないことがあります。

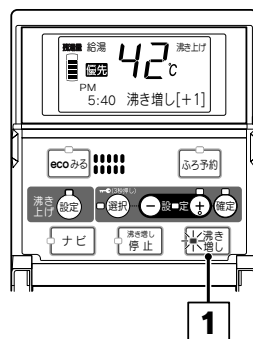
48 ページ

- ソーラー集熱が充分行われていないとき(午前中など)にお湯の使用量が多い場合や、天気の影響がはざれた場合は、湯切れして昼間に沸き増しを行うことがあります。
- 使用開始当初など日々のお湯の使用量とソーラー集熱量のデータが充分蓄積されていない場合や、OMソーラーが暖房運転を行う時期(冬期・中間期)は、「☀️(はれ)セーブ運転」をしても夜間の沸き上げ量が多めになります。

沸き増し運転

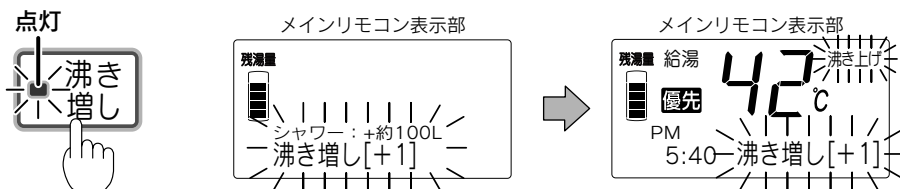
- お好みの沸き増し運転を選択することにより、必要に応じたお湯を確保します。

沸き増し[+1]	残湯量表示が1つ点灯する量を沸き増しします。	残湯量によっては選択できない場合があります。
沸き増し[+2]	残湯量表示が2つ点灯する量を沸き増しします。	
沸き増し[+3]	残湯量表示が3つ点灯する量を沸き増しします。	
沸き増し[+4]	残湯量表示が4つ点灯する量を沸き増しします。	
沸き増し[+5]	残湯量表示が5つ点灯する量を沸き増しします。	
満タン[6時間]	選択した時間、常に貯湯タンク内を370Lに沸き上げます。	
満タン[12時間]		
満タン[24時間]		



- 昼間時間帯の沸き上げは昼間電力で沸き上げますので、電気料金は割高になります。

1 メインリモコンの沸き増しスイッチ①を押す



ご希望の運転に合わせます。(沸き増しスイッチを押すごとに表示が変わります)
 音声で「沸き増しが設定されました」とお知らせし、沸き増しランプが点灯、ドット表示部に追加シャワー湯量のめやすと、選択した沸き増し運転を表示し、沸き増しを開始します。

2 沸き増し運転終了



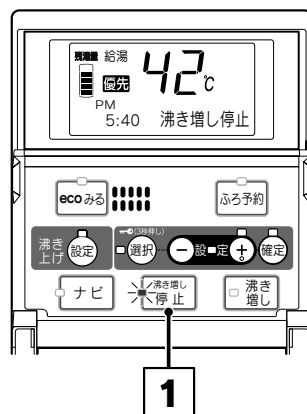
設定した沸き増し動作を実行すると沸き増しランプが消灯し、自動的に運転を終了します。通常の表示に戻ります。

お知らせ

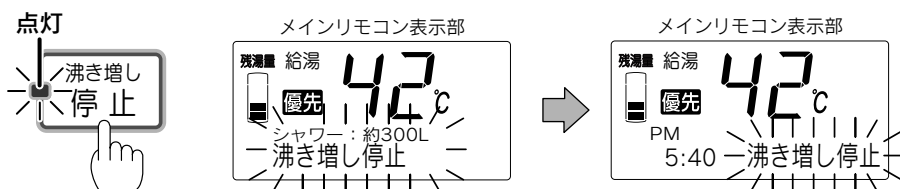
- 途中で停止するときは、メインリモコンの沸き増しスイッチを押してください。音声で「沸き増しが解除されました」とお知らせし、沸き増しランプが消灯します。
- 沸き増し運転の沸き増し量はめやすです。沸き増し終了時点の残湯量表示と合わない場合があります。
- 追加シャワー湯量は42°C換算のめやすです。

沸き増し停止

- 夜間時間帯まで強制的に沸き増しを停止します。
夜間時間帯になると沸き増し停止ランプが消灯し、設定が自動的に解除されます。



メインリモコンの沸き増し停止スイッチ①を押す



音声で「沸き増しを一時停止します 残り湯量に注意してください」とお知らせし、沸き増し停止ランプが点灯、ドット表示部に「沸き増し停止」と表示し、昼間時間帯の沸き増しを停止します。

沸き増し停止の解除



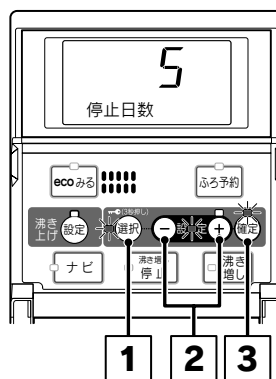
メインリモコンの沸き増し停止スイッチを再度押すと、沸き増し停止が解除されます。(沸き増し停止ランプと、ドット表示部の「沸き増し停止」が消灯します。)

お知らせ

- 沸き増し停止中に湯切れしそうになった場合は、沸き増しスイッチを押してください。沸き増し停止が解除され、沸き増し運転を開始します。
- 夜間時間帯に沸き増し停止スイッチを押すと、音声で「受付できません 確認してください」とお知らせし、ドット表示部に「受付できません」と表示します。

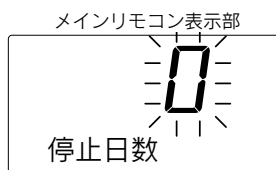
数日間運転を停止する方法 [停止日数設定]

- 旅行などでお湯を使用しないときに、数日間(1～30日)沸き上げを行わないように設定できます。

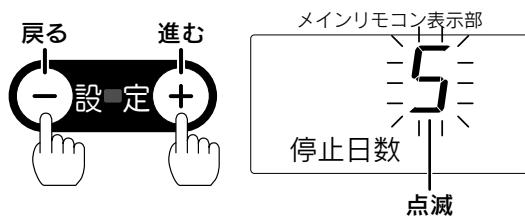


- ### 1 メインリモコンの選択スイッチ①を数回押して「停止日数」を表示させる

17ページ

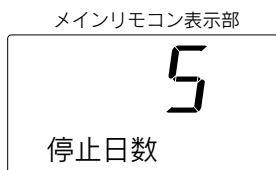


- ### 2 設定スイッチ②を押す



希望の日数に合わせます。
日数は1～30日間です。

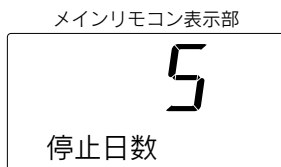
- ### 3 確定スイッチ③を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。

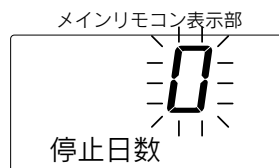
このとき確定スイッチを押さずに続けて選択スイッチを押すと通常の表示に戻ります。

- ### 4 再度、確定スイッチ③を押す



設定が完了し、その日から沸き上げを停止します。

停止日数設定の解除



選択スイッチを押して「停止日数」設定を選び、停止日数を「0」に合わせ確定スイッチを押します。

停止日数設定をする前の表示に戻ります。

お知らせ

- 停止日数設定を行ったその日から沸き上げを停止します。
- 帰宅する前日の夜に沸き上げを行わないと、帰宅する日にお湯が使用できません。

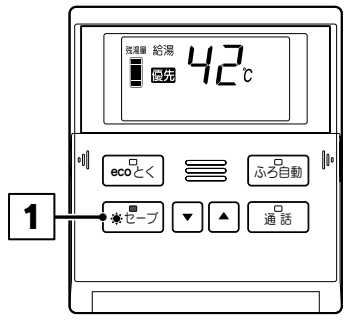
例 3泊4日の旅行の場合・・・出発日に停止日数を「3」に設定してください。

	7時	23時	7時	23時	7時	23時	7時	23時	7時	
	昼間		夜間		昼間		夜間		昼間	
沸き上げ	沸き上げ停止		沸き上げ停止		沸き上げ停止		沸き上げ運転		沸き上げ運転	
旅行の日程	1日目(出発日)		2日目		3日目		4日目(帰宅日)			
停止日数	停止日数を「3」に設定します。						お湯が使用できます。			

- 長期間使用しないと、水質が変化することがあります。

☀(はれ)セーブ運転

- 夜間の沸き上げ量を少なくして、より多くのソーラー集熱ができるようにします。翌日が晴れてソーラー集熱が期待できる場合などに使用します。
- 冬季はソーラー集熱をしませんので「☀(はれ)セーブ運転」をしないでください。湯切れのおそれがあります。
- 日々のお湯の使用量・ソーラー集熱量によって夜間の沸き上げ湯量が変わります。
- ☀(はれ)セーブ運転は沸き上げ設定を「おまかせ」にしているときのみ受け付けます。

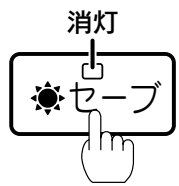


メインリモコンの☀(はれ)セーブスイッチ①を押す



☀(はれ)セーブランプが点灯します。

☀(はれ)セーブの解除



- ☀(はれ)セーブスイッチを押します。
- ☀(はれ)セーブランプが消灯します。

お知らせ

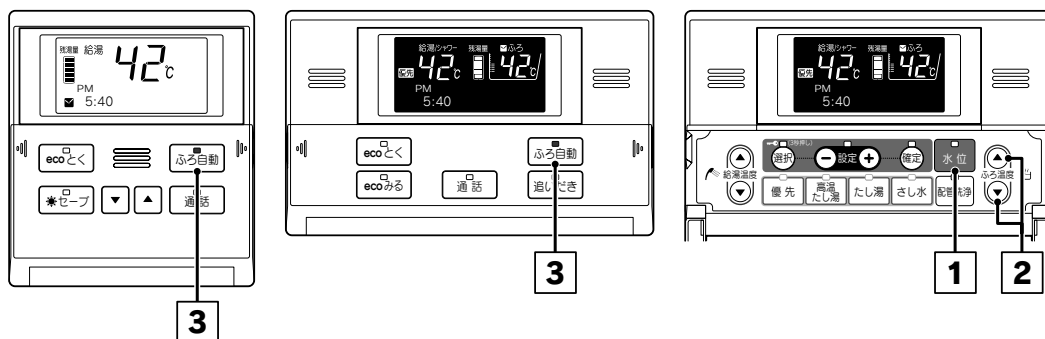
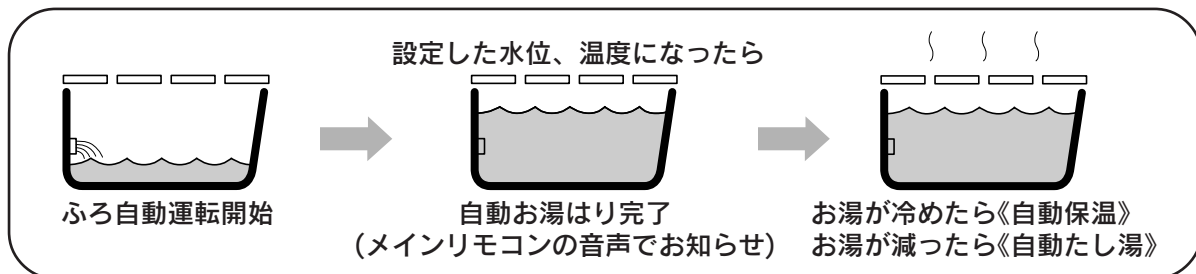
- 夜間の沸き上げ量を通常よりも少なくするため、夜間時間帯の終了よりも早く沸き上がるようになります。
- ソーラー集熱が充分行われていないとき(午前中など)にお湯の使用量が多い場合や、天気の影響で集熱できない場合は、朝の時点での貯湯量では不足して昼間に沸き増しをすることがあります。
- 翌日の昼間時間帯になると自動的に☀(はれ)セーブ運転が解除され、☀(はれ)セーブランプが消灯します。
- 沸き上げ設定が「おまかせ」以外のときに☀(はれ)セーブスイッチを押すと、音声で「受付できません 確認してください」とお知らせし、ドット表示部に「受付できません」と表示します。沸き上げ設定を確認して「おまかせ」に設定してください。

22ページ

- 数日間連続して「☀(はれ)セーブ運転」を行うと夜間の沸き上げ量が多くなる場合があります。
- 使用開始当初など日々のお湯の使用量とソーラー集熱量のデータが充分蓄積されていない場合や、OMソーラーが暖房運転を行う時期(冬期・中間期)は、「☀(はれ)セーブ運転」をしても夜間の沸き上げ量が多めになります。

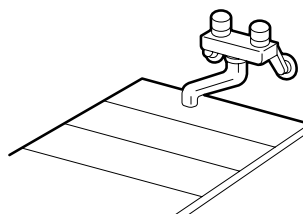
ふろ自動運転

●自動的に浴そうにお湯はり《自動お湯はり》を行い、その後自動保温・自動たし湯を行います。

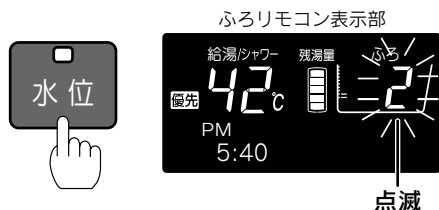


1 浴そうに排水栓とふたをする

設置後初めてお湯はりを行う場合は、必ず浴そうを空にしてください。

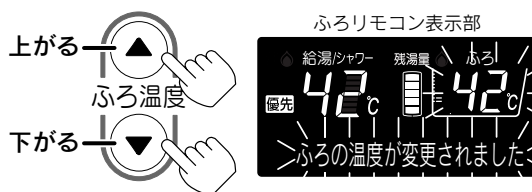


2 ふろリモコンの水位スイッチ①を押す



水位は循環口の高さから1段目は約10cm、2段目以上は約4cmずつ増えます。設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。

3 ふろ温度調節スイッチ②を押す



約35～48°Cの範囲で調節できます。設定を変更すると、音声で「ふろ温度が変更されました」とお知らせします。

4 ふろ自動スイッチ³を押す



ふろ自動ランプが点灯し、ドット表示部に「お湯はりをします」と表示して、お湯はりを開始します。残り湯の有無を検知するため、お湯はり・停止を数回繰り返します。

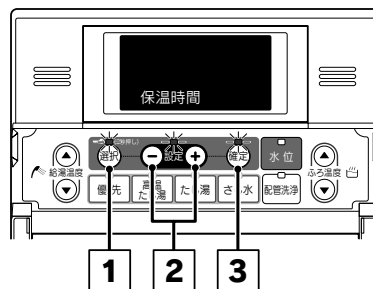
5 ふろ自動運転終了

設定した水位までお湯はりすると自動的に停止します。
ふろ設定温度に沸き上げると、メインリモコンの音声で「おふろが沸きました」とお知らせし、ドット表示部に「おふろが沸きました」と表示して、保温を開始します。
その後お湯が冷めたら保温してふろ設定温度に保ち、お湯が減ったら湯をためて水位を保ちます。保温中はふろ自動ランプが点滅し、メインリモコンのドット表示部に「保温中」と表示します。

お知らせ

- 工場出荷時は、水位(お湯はり量)を2段目に設定しています。
- 途中で停止するときは、ふろ自動スイッチを押してください。(ふろ自動ランプが消灯します。)
- 残り湯を使用する場合は、残り湯を少なくしてふろ自動運転を行ってください。
- ふろ保温時間が長い場合はタンク内部の湯温が下がり、湯切れする場合があります。
- 次回からは「1」・「4」を行うだけでふろ自動運転を開始しますが、やけど防止のためふろ設定温度は確認してください。
- 一度水位を設定すると毎回同じ量でお湯はりができます。
- 保温運転中は約20分に一度循環ポンプが作動して浴そう内の湯温を検知し、湯温が低いときはふろ設定温度まで沸き上げます。
- 洋風バスなど浅い浴そうや循環口の位置によっては、水位設定を高めにするると浴そうから湯があふれる場合があります。
- 試運転時(設置後最初に運転するときのみ)に、浴そうにお湯(水)が入っている状態で、ふろ自動運転をしようとするるとエラーコード「F00」が出て運転を停止します。
このときは、浴そうの水を一度全部抜いてから、再度ふろ自動運転を行ってください。

保温時間の設定



1 ふろリモコンの選択スイッチ**1**を数回押して「保温時間」を表示させる

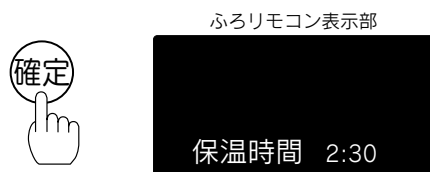


2 設定スイッチ**2**を押す



希望の保温時間に合わせます。
設定スイッチを押すと保温時間が
2:00⇔2:30・・・4:00⇔0:00・・・1:30
と変わります。

3 確定スイッチ**3**を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、通常
の表示に戻ります。

4 再度、確定スイッチ**3**を押す



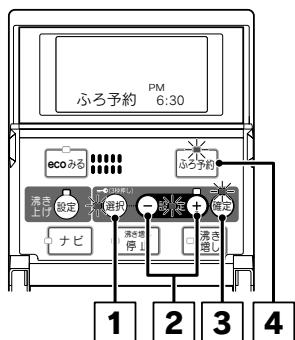
通常
の表示に戻ります。
30秒経過またはふたを閉じることで通常
の表示に戻ります。

お知らせ

- 工場出荷時は保温時間を「2時間」に設定しています。(最大4時間)
- 保温時間中に浴そうの水を抜くとエラーコード「F03」が出て運転を停止します。
このときは、リモコンのふたを開き、確定スイッチを10秒間押し続けることでリセットできます。

ふろ予約運転

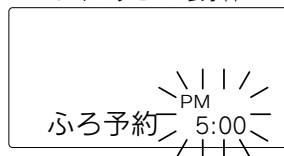
- 設定した時刻にお湯はり完了するように、ふろ自動運転の予約ができます。



1 メインリモコンの選択スイッチ¹を数回押して「ふろ予約」を表示させる



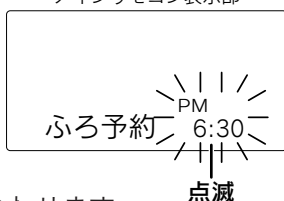
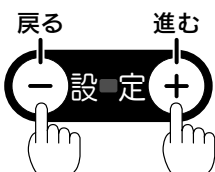
メインリモコン表示部



17 ページ

2 設定スイッチ²を押す

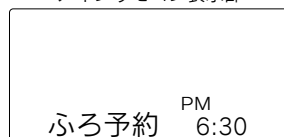
メインリモコン表示部



希望の予約時刻に合わせてます。
1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

3 確定スイッチ³を押す

メインリモコン表示部



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチ³を押す

メインリモコン表示部



通常の表示に戻ります。
30秒経過またはふたを閉じることで通常の表示に戻ります。

5 ふろ予約スイッチ⁴を押す

点灯



メインリモコン表示部



音声で「お湯はり予約されました」とお知らせし、ふろ予約ランプが点灯します。
予約時刻にお湯はり完了するように約30分前にお湯はりを開始します。

ふろ予約運転の解除

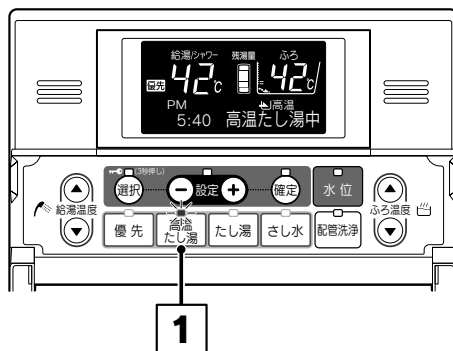
メインリモコンのふろ予約スイッチを再度押すと、ふろ予約運転が解除されます。
(ふろ予約ランプが消灯します。)

お知らせ

- 現在時刻が合っていることを確認してください。
- お湯はりの水位や沸き上げ温度は、ふろ自動運転と同じ設定になります。
- 予約中に停電すると、予約が解除されることがあります。
- 次回からは「5」を行うだけでほぼ同じ時刻にお湯はりが完了します。
- 当日のふろ自動運転の予約は、予約時刻の30分以上前に設定してください。

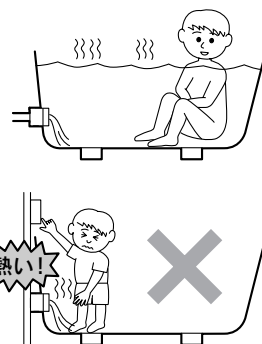
高温たし湯運転

- 60℃のお湯を約 20L たし湯し、ふろの温度を上げます。
- 給湯中は高温たし湯スイッチを受け付けません。




警告

- 高温たし湯運転をするときは、循環口から離れてください。やけどをするおそれがあります。
- 浴そうにお湯がないときは、高温たし湯スイッチは押さないでください。やけどをするおそれがあります。



1 ふろリモコンの高温たし湯スイッチ①を押す

音声で「あついお湯をたします」とお知らせし、高温たし湯ランプが点灯します。ドット表示部に「あついお湯をたします」、「高温たし湯中」と「高温 (高温マーク)」を表示し、高温たし湯を開始します。また、高温たし湯中は音声で「あついお湯をたします」と繰り返しお知らせします。



2 高温たし湯運転終了

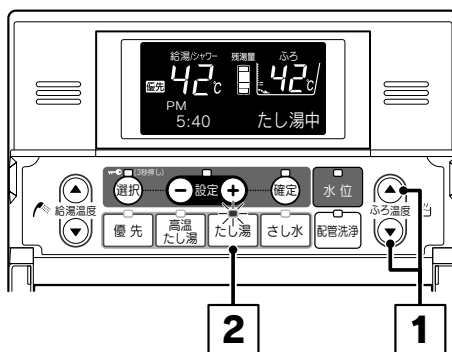
60℃のお湯を約 20L たし湯すると、自動的に高温たし湯運転を終了します。

お知らせ

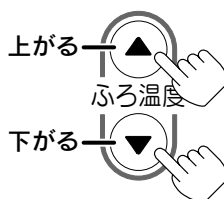
- 途中で停止するときは、ふろリモコンの高温たし湯スイッチを押してください。(高温たし湯ランプが消灯します。)
- 残り湯を使用する場合は、高温たし湯運転を行うことをおすすめします。
- 給湯中に高温たし湯スイッチを押すと、音声で「受付できません 確認してください」とお知らせし、ドット表示部に「受付できません」と表示します。

たし湯運転

- ふろ設定温度のお湯を約 20L たし湯し、浴そうのお湯の量を増やします。



1 ふろリモコンのふろ温度調節スイッチ①を押す



約 35 ~ 48°C の範囲で調節できます。

2 たし湯スイッチ②を押す



音声で「お湯をたします」とお知らせし、たし湯ランプが点灯します。
ドット表示部に「お湯をたします」、「たし湯中」と表示し、たし湯を開始します。



3 たし湯運転終了

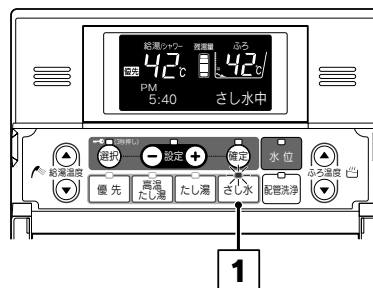
ふろ設定温度のお湯を約 20L たし湯すると、自動的にたし湯運転を終了します。

お知らせ

- 途中で停止するときは、ふろリモコンのたし湯スイッチを押してください。(たし湯ランプが消灯します。)

さし水運転

- 約 10L の水をさし水してふろの温度を下げます。



1 ふろリモコンのさし水スイッチ¹を押す

音声で「水をたします」とお知らせし、さし水ランプが点灯します。
ドット表示部に「水をたします」、「さし水中」と表示し、さし水を開始します。



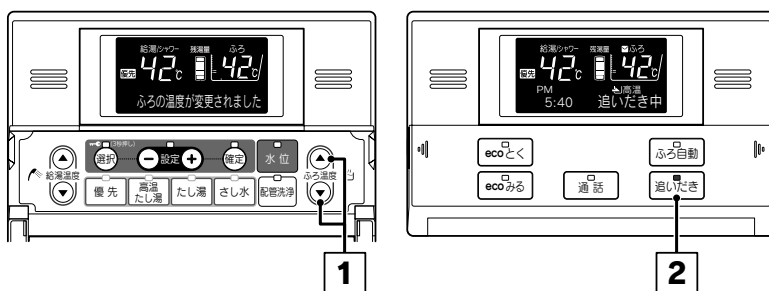
2 さし水運転終了

約 10L さし水すると、自動的にさし水運転を終了します。

お知らせ

- 途中で停止するときは、ふろリモコンのさし水スイッチを押してください。
(さし水ランプが消灯します。)
- さし水運転終了後の温度は、浴そうのお湯の温度と給水温度によって異なります。

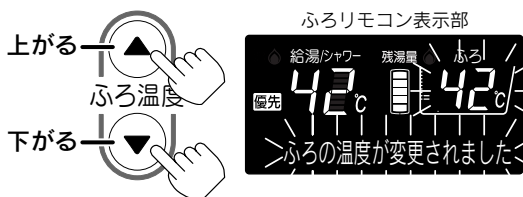
追いだき運転



お願い

浴そうの水が循環口から10cm以上ある状態で使用してください。

1 ふろリモコンのふろ温度調節スイッチ①を押す



約 35 ~ 48°C の範囲で調節できます。

2 追いだきスイッチ②を押す



音声で「追いだきをします あついお湯が出ます」とお知らせし、追いだきランプが点灯します。
ドット表示部に「追いだきをします」、「あついお湯が出ます」、「追いだき中」と「高温 (高温マーク)」を表示し、追いだき運転を開始します。

3 追いだき運転終了

お湯の温度が設定温度より低い場合は設定温度まで追いだきし、お湯の温度が設定温度以上の場合は、お湯の温度 + 1°C まで追いだきして、自動的に運転を終了します。(最高 48°C まで追いだき運転をします。)

お知らせ

- 残り湯を追いだきする場合は貯湯タンク内部の湯温が下がり、湯切れすることがありますので、高温たし湯運転を行うか、残り湯を少なくしてふろ自動運転を行ってください。
- 途中で停止するときは、ふろリモコンの追いだきスイッチを押してください。(追いだきランプが消灯します。)
- 追いだき運転をすると高温お湯できない場合があります。
- 頻繁に追いだき運転をする場合は、沸き上げ設定を「**多め**[湯量レベル3 または 4]」にするか、沸き増し運転の「**満タン**」を行ってください。(湯切れの原因になります。)

◀ 24・27 ページ

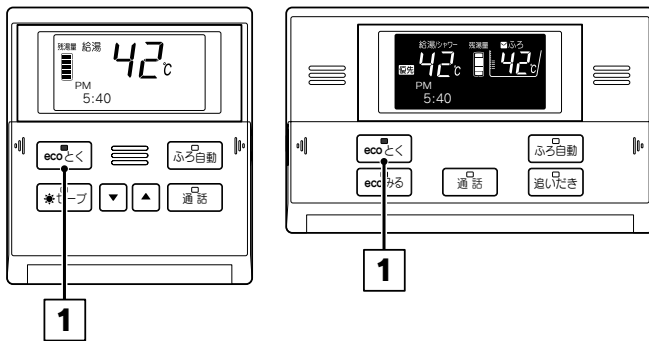
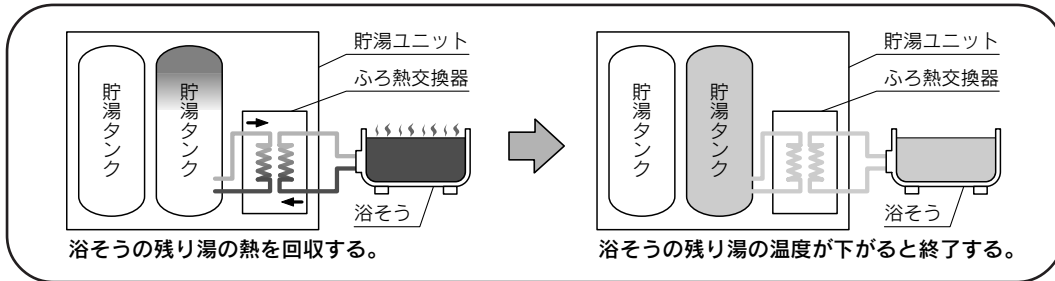
- リモコンに残湯量表示を表示している場合でも、ヒートポンプ側の貯湯タンク内の温度が追いだきができるほど高くない場合は、追いだき運転を受け付けないことがあります。

▶ 48 ページ

使用方法

eco とく 運転

- 浴そうの残り湯の熱を回収して、貯湯タンク内のお湯を温めます。



お願い

浴そうの水が循環口から 10cm 以上ある状態で使用してください。

1 eco とくスイッチ [1] を押す

eco とくランプが点滅し、浴そうの残り湯を循環させ温度を検知します。(約 30 秒間)

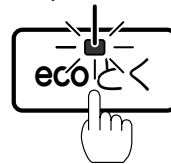
残り湯の熱を回収できると判定した場合は、eco とくランプが点灯し、熱の回収を開始します。(熱の回収中はメインリモコンのバックライトが橙色に変わります。)

回収後は待機状態になります。

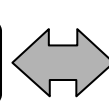
53 ページ

待機中に給湯の使用により貯湯タンク内の温度が低下すると、浴そうの残り湯の温度を検知し、熱を回収できると判定したら熱の回収を再開します。

点滅(温度検知中)



点灯
(eco とく 運転中)



点滅
(待機中)



2 eco とく 運転 終了

残り湯の熱を回収できないと判定した場合は eco とく 運転を終了します。また、eco とく スイッチを押してから約 3 時間経過すると、自動的に eco とく 運転を終了します。(eco とく ランプが消灯します。)

eco とく 運転の解除


eco とく スイッチを再度押すと、eco とく 運転が解除されます。(eco とく ランプが消灯します。)

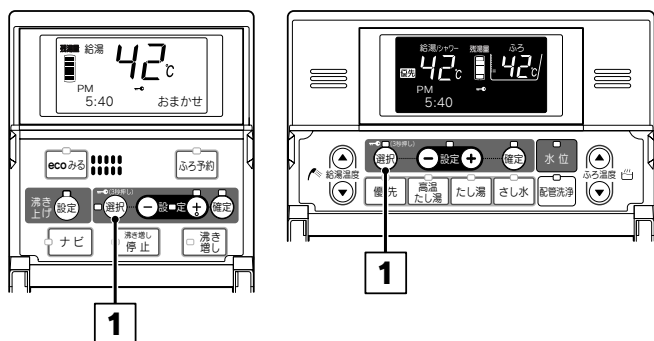


お知らせ

- 下記の場合は熱回収を行わずに eco とく運転を終了することがあります。
 - ・ 貯湯タンク内のお湯の温度が高い場合
 - ・ 浴そうの残り湯の温度が低い場合
 - ・ 浴そうのお湯が少ない場合
- メインリモコンのバックライトの色は設定により変更することができます。 53・54 ページ
- お湯はり運転、追いだし運転、たし湯運転、高温たし湯運転、さし水運転中に eco とくスイッチを押すと、音声で「受付できません 確認してください」とお知らせし、ドット表示部に「受付できません」と表示します。
- 保温運転中に eco とくスイッチを押すと保温運転を終了し eco とく運転を開始します。入浴中に誤って eco とくスイッチを押すと浴そう水の温度が低下するので注意してください。


チャイルドロックの設定

- お子様のいたずらによる運転開始、温度変更などを防止します。
-  が点灯しているときは、各種運転の停止・通話スイッチ・ナビスイッチの操作のみ受け付けます。その他のスイッチを押すと、音声で「チャイルドロックが設定されています」とお知らせします。




選択スイッチ を約 3 秒間押す



音声で「チャイルドロックが設定されました」とお知らせし、ドット表示部に  を表示します。

チャイルドロックの解除

選択スイッチを約 3 秒間押します。
ドット表示部の  が消灯します。

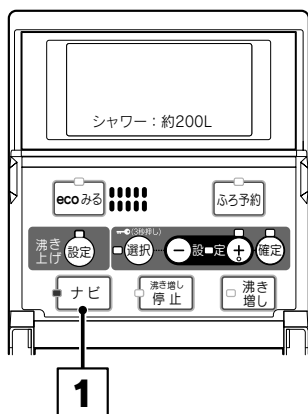


お知らせ

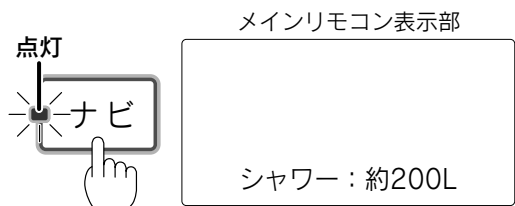
- チャイルドロックはリモコンごとに設定することができます。
- 運転中・停止中に関係なくチャイルドロックの設定ができます。
- 停電すると設定が解除されます。

ナビ表示

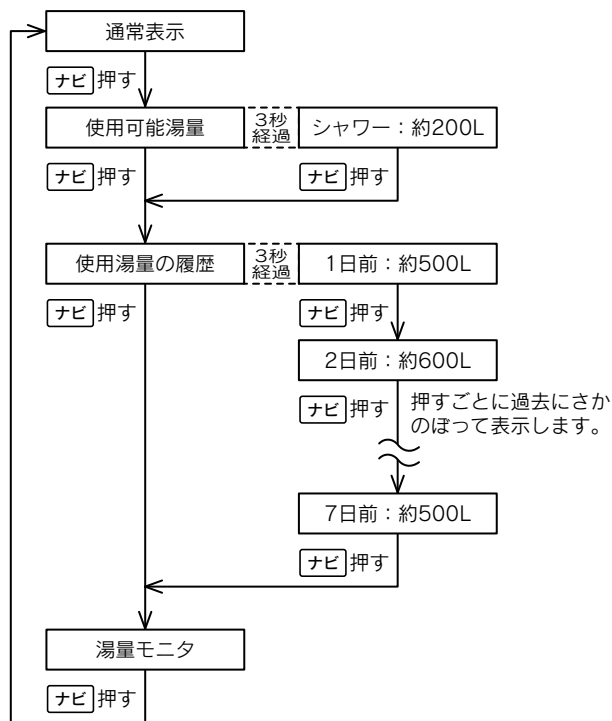
- メインリモコンのナビスイッチを押すごとに、使用可能湯量および使用湯量の履歴(過去7日間の使用湯量)、湯量モニタを確認できます。



メインリモコンのナビ スイッチ①を押す



ナビランプが点灯し、ドット表示部に使用可能湯量および使用湯量の履歴(過去7日間の使用湯量)、湯量モニタを表示します。



使用湯量のデータはAM5:00に更新されます。

お知らせ

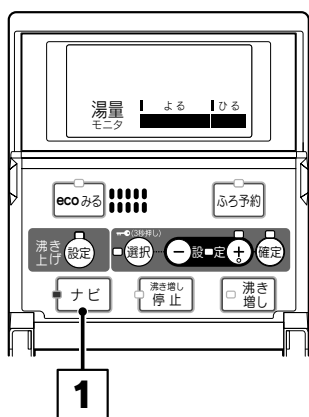
- 30秒経過またはふたを閉じることで元の表示に戻ります。
- 湯量は給湯温度 42℃換算のためです。
- 使用可能湯量が500L以上の場合、リモコンの使用可能湯量表示は「500L以上」と表示します。

湯量モニタ

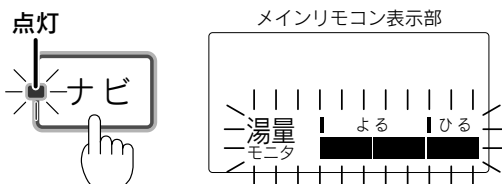
●沸き上げ状態をバーグラフで表示します。

バーグラフ	「おまかせ」設定時				「多め」設定時	「深夜のみ」設定時
	沸き上げ温度	沸き上げ湯量	昼間沸き増し	湯切れ沸き増し		
湯量 モニタ	約85℃(※)	230~370L	あり	あり	湯量レベル2~4	—
湯量 モニタ	約65~85℃(※)		なし		—	湯量レベル1
湯量 モニタ	—	—	—	—	—	湯量レベル1

※外気温によって沸き上げ温度の上限が約75～85℃の間で変わります。



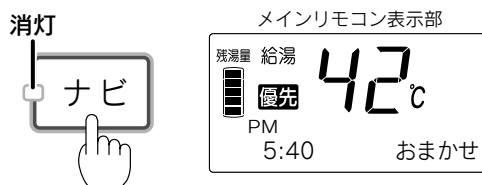
1 メインリモコンのナビ
スイッチ **1** を「湯量モニ
タ」が表示されるまで数
回押す



ナビランプが点灯し、ドット表示部にバー
グラフを表示します。

41 ページ

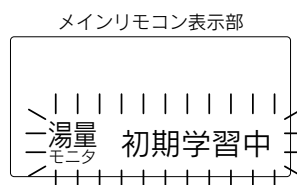
2 再度、ナビスイッチ **1**
を押す



ナビランプが消灯し、通常の表示に戻り
ます。
30秒経過またはふたを閉じることでも
通常の表示に戻ります。

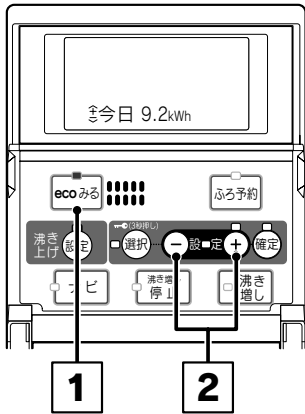
お知らせ

●「おまかせ」設定時で学習データが揃うまでは、ドット表示部に
「初期学習中」と表示します。



ecoみる表示 お客様に節約度やCO₂削減量などの使用状況をお知らせする機能です。

①メインリモコンの場合

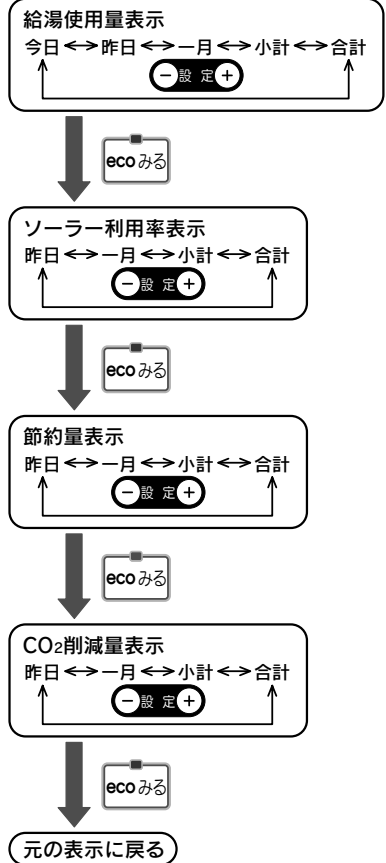


ecoみるスイッチ[1]を押す



ecoみるスイッチを押すごとに右の順序で表示します。

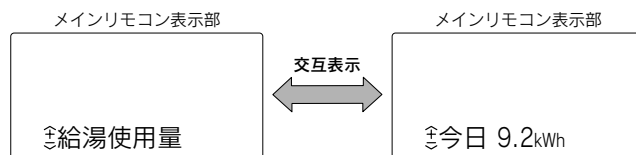
ecoみる表示の順序



給湯使用量表示

「給湯使用量」とは給湯じゃ口からの給湯量・自動お湯張りによる給湯量・たし湯による給湯熱量を合計したものです。

設定スイッチ[2]を押すと 今日 ↔ 昨日 ↔ 一月 ↔ 小計 ↔ 合計 の順で表示します。
(ひと月) (積算) (設置後積算)

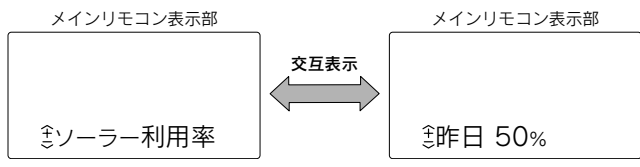




ソーラー利用率表示

「ソーラー利用率」とは給湯使用量のうちソーラー集熱運転によってまかなわれた割合のことです。

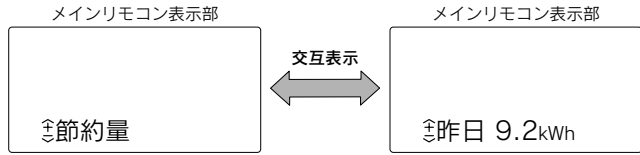
設定スイッチ[2]を押すと昨日 ←→ 一月 ←→ 小計 ←→ 合計 の順で表示します。
(ひと月) (積算) (設置後積算)



節約量表示

「節約量」とはソーラー集熱運転をすることにより、どれだけ熱量を節約できたかを表したものです。

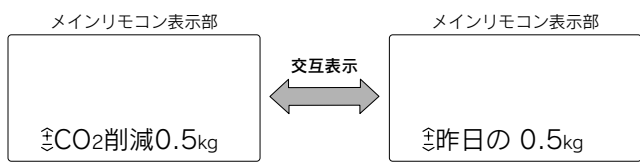
設定スイッチ[2]を押すと昨日 ←→ 一月 ←→ 小計 ←→ 合計 の順で表示します。
(ひと月) (積算) (設置後積算)



CO₂削減量表示

「CO₂削減量」とはソーラー集熱運転をすることにより、どれだけCO₂を削減できたかを表したものです。

設定スイッチ[2]を押すと昨日 ←→ 一月 ←→ 小計 ←→ 合計 の順で表示します。
(ひと月) (積算) (設置後積算)



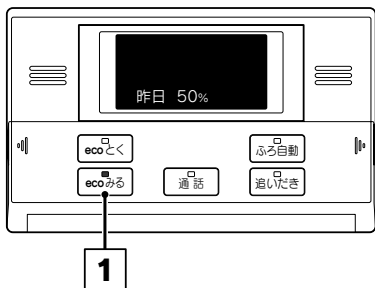
ecoみる表示終了

通常の見返しに戻ります。
ecoみる表示の途中でも何も操作しない状態が約30秒間続くと通常の見返しに戻ります。
また、ふたを閉しても通常の見返しに戻ります。

使用方法

②ふろリモコンの場合

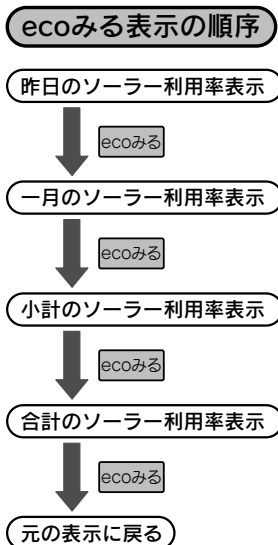
お客様にソーラー利用率をお知らせする機能です。
ソーラー利用率は給湯使用量のうちソーラー集熱運転によってまかなわれた割合のことです。



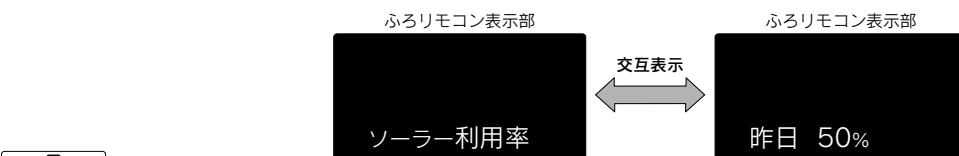
ecoみるスイッチ¹を押す



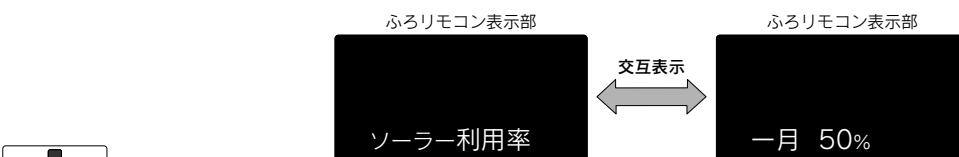
ecoみるスイッチを押すごとに右の順序で表示します。



昨日のソーラー利用率表示

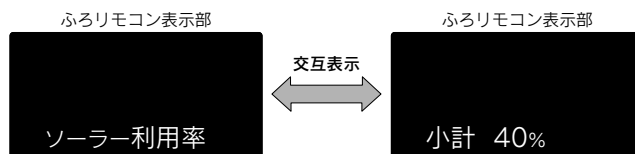


一月(ひと月)のソーラー利用率表示



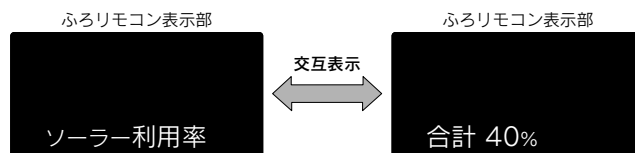
ecoみる

小計(積算)のソーラー利用率表示



ecoみる

合計(設置後積算)のソーラー利用率表示



ecoみる

ecoみる表示終了

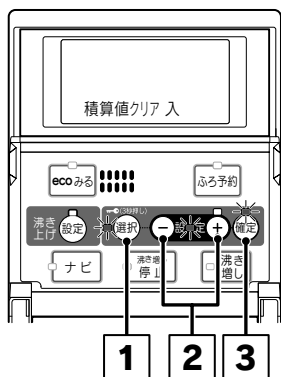
通常の表示に戻ります。

ecoみる表示の途中でも何も操作しない状態が約30秒間続くと通常の表示に戻ります。

Ⓜお知らせⓂ

- 「今日」とは今日の午前0時から現在までのことです。
- 「昨日」とは昨日の午前0時から昨日の午後11時59分までのことです。
- 「一月(ひと月)」とは30日前から昨日までの30日間のことです。
- 「小計(積算)」とは機器設置後または「積算値クリアの設定」をした日から昨日までのことです。
- 「合計(設置後積算)」とは機器設置後から昨日までのことです。
- 「給湯使用量」とは給湯じゃ口からの給湯量・自動お湯張りによる給湯量・たし湯による給湯熱量を合計した量です。
- 「ソーラー利用率」とは給湯使用量のうちソーラー集熱運転によってまかなわれた割合のことです。
- 「節約量」とはソーラー集熱運転をすることにより、どれだけ熱量を節約できたかを表したものです。
- 「CO₂削減量」とはソーラー集熱運転によって、どれだけCO₂を削減できたかを表したものです。
- 「ソーラー利用率」・「節約量」・「CO₂削減量」は今日の値を表示しません。
- イラストは運転停止中に操作した場合です。運転中にecoみるスイッチを操作した場合はドット表示部以外の表示はそのまま表示します。ただし、優先表示は消灯します。

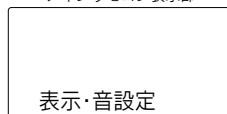
積算値クリアのしかた



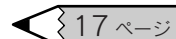
1 選択スイッチ**1**を押して「表示・音設定」を表示させる



メインリモコン表示部



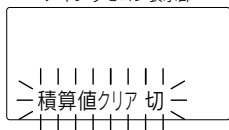
表示・音設定



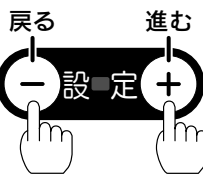
2 確定スイッチ**3**を押す



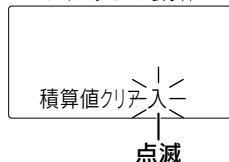
メインリモコン表示部



3 設定スイッチ**2**を押す



メインリモコン表示部



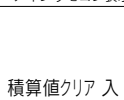
点滅

設定スイッチを押すごとに入⇔切と切り替わります。

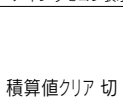
4 確定スイッチ**3**を押す



メインリモコン表示部



メインリモコン表示部



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせし小計(積算)データが消去されます。データを消去すると自動的に「切」に戻ります。この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

5 再度、確定スイッチ**3**を押す



メインリモコン表示部



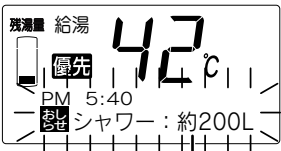







通常表示に戻ります。30秒経過またはふたを閉じることで通常表示に戻ります。


お知らせ

- 消去するデータは下記となります。
 - ・小計(積算)の給湯使用量
 - ・小計(積算)の節約量
 - ・小計(積算)のソーラー利用率
 - ・小計(積算)のCO₂削減量
- お買い上げ時には「切」に設定されています。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常表示に戻ります。

おしらせ表示

- 「おしらせ[入]」に設定した場合に、下記の内容をドット表示と音声でお知らせします。工場出荷時は「入」に設定しています。

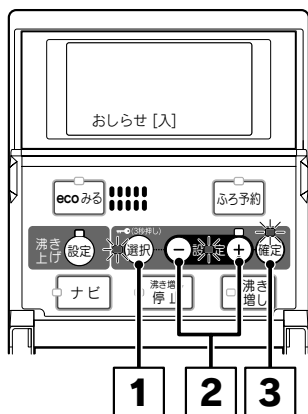
「使用可能湯量」表示	<p>●残湯量表示が2つから1つになったときに、使用可能湯量をお知らせします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>メインリモコン表示部</p>  <p>5秒ごとに点滅</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ふろリモコン表示部</p>  <p>5秒ごとに点滅</p> </div> </div> <p>●ドット表示部に、使用可能湯量を「シャワー：約200L」(例)のように表示します。(5秒ごとに点滅表示します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使用可能湯量は水温によって変化します。 ●使用可能湯量と残湯量表示との相関はありません。 ●メインリモコンはふたを開くと、通常の表示に戻ります。(ふたを閉じると再度表示します。)
「追いだき情報」表示	<p>●残湯量から判断してドット表示部に「追 (追いだき注意マーク)」または「追 (追いだき不可マーク)」を表示し、追いだき情報をお知らせします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>メインリモコン表示部</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ふろリモコン表示部</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>メインリモコン表示部</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ふろリモコン表示部</p>  </div> </div> <p>追いだき運転中または追いだきスイッチを押すと、ふろリモコンの音声で「お湯が少なくなりました」とお知らせし、ドット表示部に「追いだきできません」と表示します。</p> <p>※「おしらせ[切]」に設定しても、この音声と表示は消えません。</p>

- おしらせ表示があった場合は、必要に応じて沸き増し運転を行ってください。  27 ページ

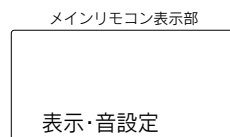
お知らせ

- 使用可能な湯量は給湯温度 42℃ 換算のためです。
- リモコンに残湯量表示を表示している場合でも、ヒートポンプ側の貯湯タンク内の温度が追いだきができるほど高くない場合は、追いだき運転を受け付けないことがあります。

お知らせ表示の設定

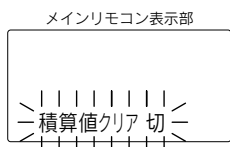


1 選択スイッチ**1**を押して「表示・音設定」を表示させる

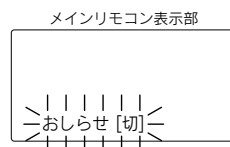


17 ページ

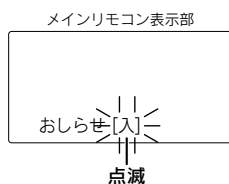
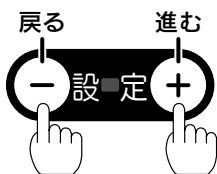
2 確定スイッチ**3**を押す



3 選択スイッチ**1**を数回押して「お知らせ」を表示させる

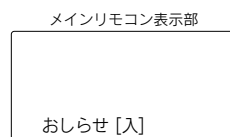


4 設定スイッチ**2**を押す



希望の設定に合わせます。
 [入] ↔ [切] と切り替わります。

5 確定スイッチ**3**を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
 この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチ**3**を押す

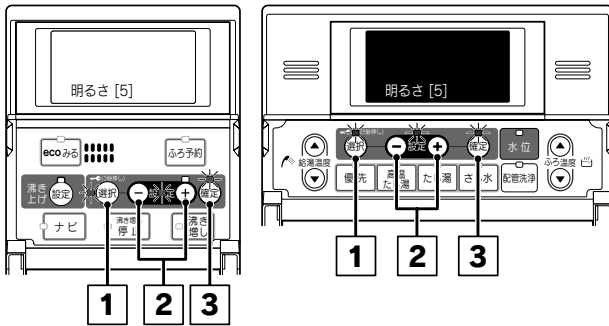


通常表示に戻ります。
 30秒経過またはふたを閉じることで通常表示に戻ります。

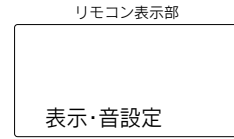
お知らせ

●工場出荷時は「入」に設定しています。

表示部の明るさ設定

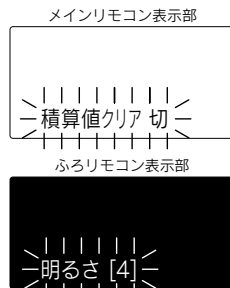


1 選択スイッチ**1**を押して「表示・音設定」を表示させる



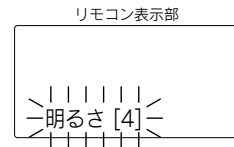
17 ページ

2 確定スイッチ**3**を押す

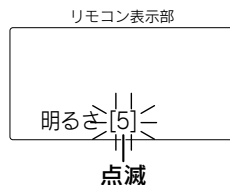
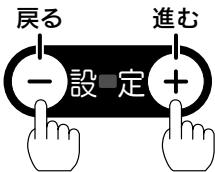


3 選択スイッチ**1**を数回押して「明るさ」を表示させる

ふるりモコンはとばします。

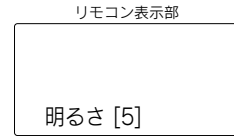


4 設定スイッチ**2**を押す



希望の明るさに合わせます。
1⇔2・・・6⇔7 の順で変更されます。
(暗) (明)

5 確定スイッチ**3**を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。

この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチ**3**を押す

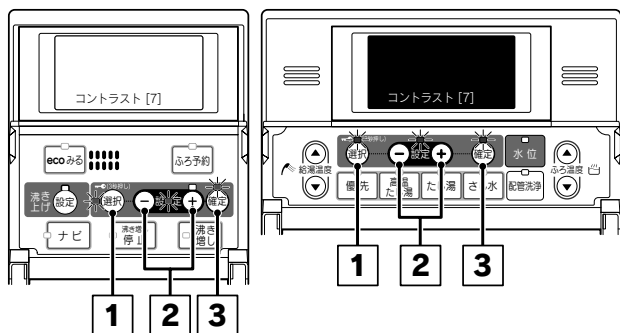


通常の表示に戻ります。
30秒経過またはふたを閉じることで通常の表示に戻ります。

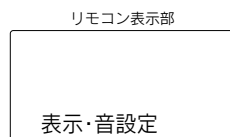
お知らせ

- 工場出荷時は「4」に設定しています。
- 表示部の明るさはリモコンごとに設定することができます。

表示部のコントラスト設定



1 選択スイッチ[1]を押して「表示・音設定」を表示させる

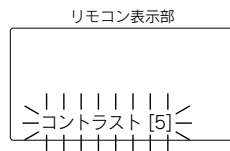


17 ページ

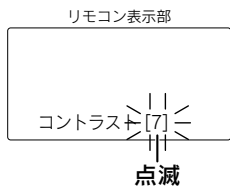
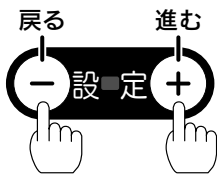
2 確定スイッチ[3]を押す



3 選択スイッチ[1]を数回押して「コントラスト」を表示させる

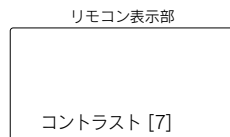


4 設定スイッチ[2]を押す



希望のコントラストに合わせます。
1⇔2…8⇔9 の順で変更されます。
(淡) (濃)

5 確定スイッチ[3]を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。

この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチ[3]を押す



通常の表示に戻ります。
30 秒経過またはふたを閉じることで通常の表示に戻ります。

Ⓜお知らせ

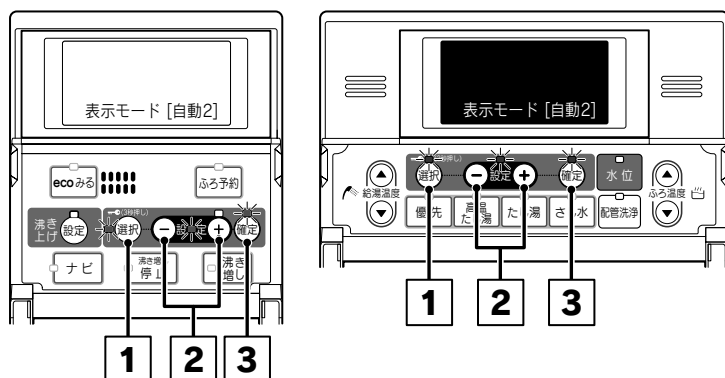
- 工場出荷時は「5」に設定しています。
- 表示部のコントラストはリモコンごとに設定することができます。

表示モード設定について

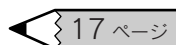
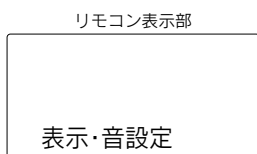
●表示部バックライトの点灯状態を設定することができます。

自動1	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時は設定した明るさより暗い節約モードになります。(操作終了から約25分後)
自動2	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時はバックライトを消灯します。(操作終了から約25分後)
入	常に設定した明るさで表示します。
切	常にバックライトを消灯します。

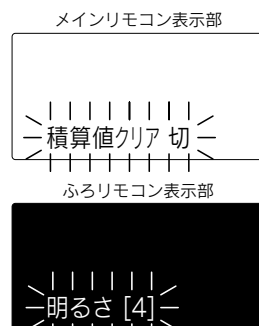
表示モード設定



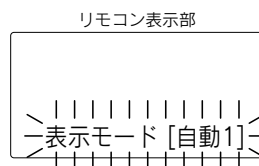
1 選択スイッチ**1**を押して「表示・音設定」を表示させる



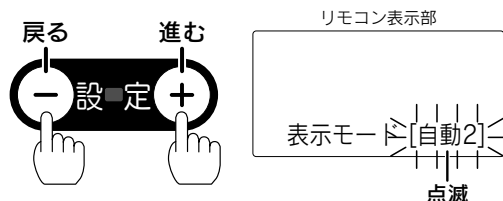
2 確定スイッチ**3**を押す



3 選択スイッチ**1**を数回押して「表示モード」を表示させる



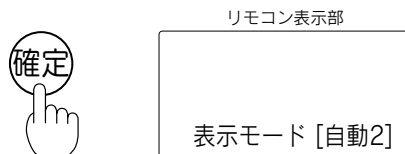
4 設定スイッチ[2]を押す



希望の表示モードに合わせます。

→自動1 ↔ 自動2 ↔ 入 ↔ 切← の順で変更されます。

5 確定スイッチ[3]を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。

この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチ[3]を押す

通常の表示に戻ります。
30秒経過またはふたを閉じることでも通常の表示に戻ります。



お知らせ

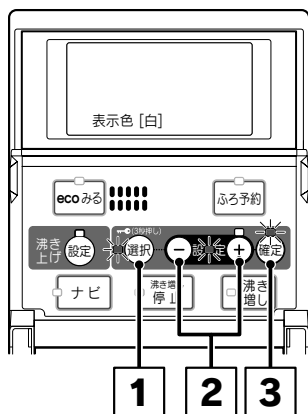
- 工場出荷時は「自動1」に設定しています。
- 表示モードはリモコンごとに設定することができます。

表示部の表示色について

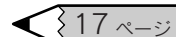
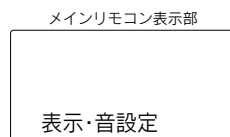
- メインリモコンの表示部バックライトの色(表示色)を設定することができます。

設定	運転状態	表示色
標準	通常時	白
	ソーラー集熱中・eco とく運転中	橙
白	通常時・ソーラー集熱中・eco とく運転中	白
橙	通常時・ソーラー集熱中・eco とく運転中	橙
淡い橙	通常時・ソーラー集熱中・eco とく運転中	淡い橙

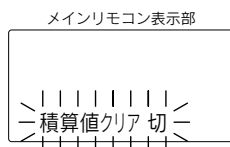
表示部の表示色の設定



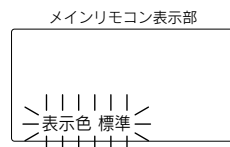
1 選択スイッチ**1**を押して「表示・音設定」を表示させる



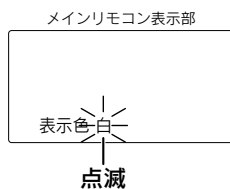
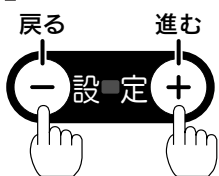
2 確定スイッチ**3**を押す



3 選択スイッチ**1**を数回押して「表示色」を表示させる

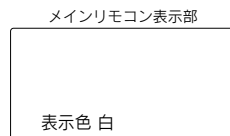


4 設定スイッチ**2**を押す



希望の表示色に合わせて。
 標準 ↔ 白 ↔ 橙 ↔ 淡い橙 の順で変更されます。

5 確定スイッチ**3**を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
 この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチ**3**を押す

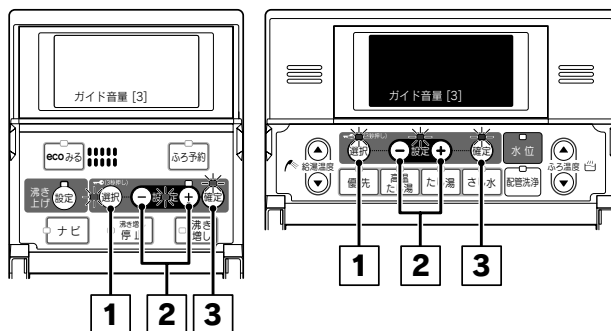


通常が表示に戻ります。
 30秒経過またはふたを閉じることで通常表示に戻ります。

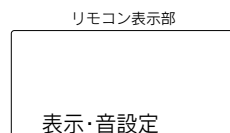
お知らせ

●工場出荷時は「標準」に設定しています。

ガイド音量設定

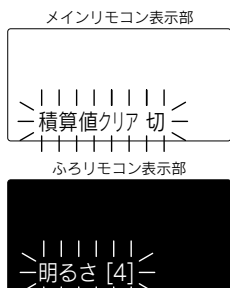


1 選択スイッチ $\boxed{1}$ を押して「表示・音設定」を表示させる

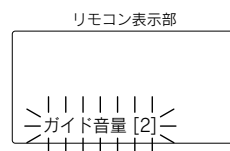


17 ページ

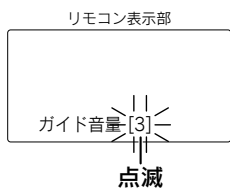
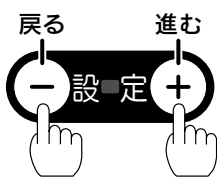
2 確定スイッチ $\boxed{3}$ を押す



3 選択スイッチ $\boxed{1}$ を数回押して「ガイド音量」を表示させる

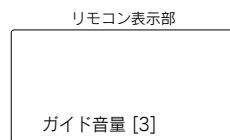


4 設定スイッチ $\boxed{2}$ を押す



希望の音量に合わせます。
0 ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 の順で変更されます。
(切) (小) (中) (大)

5 確定スイッチ $\boxed{3}$ を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチ $\boxed{3}$ を押す

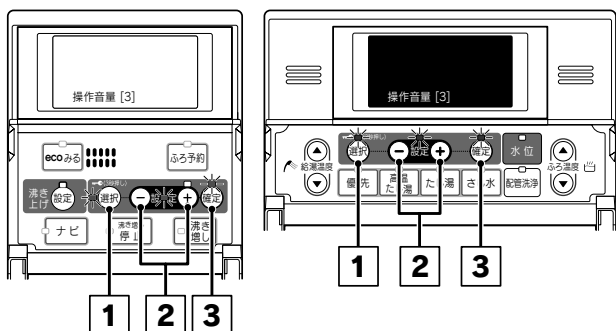


通常が表示に戻ります。
30 秒経過またはふたを閉じることで通常表示に戻ります。

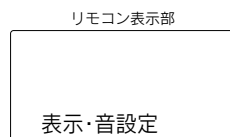
Ⓜお知らせ

- 工場出荷時は「2」に設定しています。
- ガイド音量はリモコンごとに設定することができます。

操作音量設定

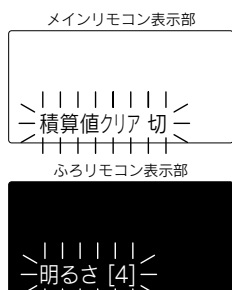


1 選択スイッチ[1]を押して「表示・音設定」を表示させる



17 ページ

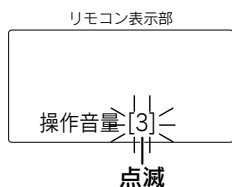
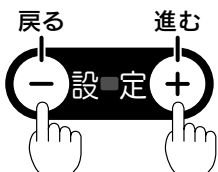
2 確定スイッチ[3]を押す



3 選択スイッチ[1]を数回押して「操作音量」を表示させる

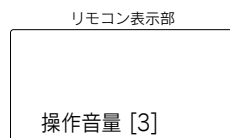


4 設定スイッチ[2]を押す



希望の音量に合わせます。
0 ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 の順で変更されます。
(切) (小) (中) (大)
このとき変更した音量で操作音が鳴ります。

5 確定スイッチ[3]を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチ[3]を押す



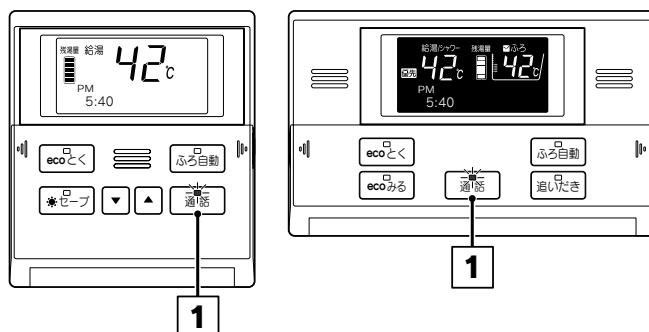
通常の表示に戻ります。
30秒経過またはふたを閉じることで通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 工場出荷時は「2」に設定しています。
- 操作音量はリモコンごとに設定することができます。

インターホンの 使いかた

- メインリモコン、ふろリモコンのどちらからでも通話できます。



⚠注意

リモコンに耳を近づけて使用しないでください。
大きな音が出ることもあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。

お願い

メインリモコンとふろリモコンの設置場所が近い場合に、通話をするとうわリング(キーン等の大きな音がする現象)を起こすことがあります。そのような場合は、お買い求めの販売店に連絡してリモコンの設置場所や向きを変更してください。

通話スイッチ①を押して通話を開始する

メインリモコンとふろリモコンの通話ランプが点灯して、呼び出し音が鳴ります。
通話ランプによってリモコンの状態がわかります。

通話ランプの状態	通話状態
ランプが点灯	こちらの話が相手に聞こえます。
ランプが点滅	話を受けている状態です。 こちらの話は相手に聞こえません。

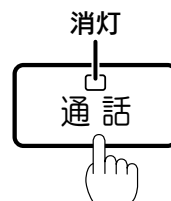


通話を終了する

通話スイッチを押します。通話ランプが消灯し、通話状態が終了します。
または、設定した通話時間が経過すると、自動的に通話ランプが消灯して通話状態が終了します。

61 ページ

話さなかったり、音がしない状態が1分間続いた場合でも、自動的に通話状態が終了します。自動的に通話状態を終了するときには、音声で「通話を終了します」とお知らせします。



通話ランプが点滅中に話したいとき

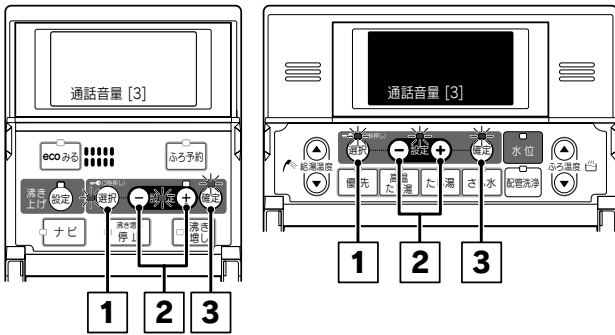
通話スイッチを押しながら話します。



お知らせ

- メインリモコンの周囲が騒々しいとメインリモコンからの通話モードとなり、浴室の音がモニターできないことがあります。
- 音声ガイドが流れているときは通話できません。
- 通話スイッチを押した直後は、ふろリモコンからの通話モードになっています。
- 通話スイッチを押しているリモコンの通話が優先されます。
- 話しはじめるときに音声が一瞬途切れることがあります。
- スイッチ操作などを行ったときに、音声途切れることがあります。
- 音声途切れたり、声が小さいときはリモコンに近づいて話してください。
- 話をするときはリモコンから約20cm離れて話してください。
- リモコンに近づきすぎて話すと、相手のリモコンで音声が聞きとりにくいことがあります。
- 通話スイッチを押しながら話す場合は、押す時間が短いと通話状態が終了することがあります。

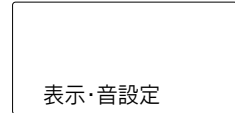
インターホンの通話音量設定



1 選択スイッチ**1**を押して「表示・音設定」を表示させる



メインリモコン表示部

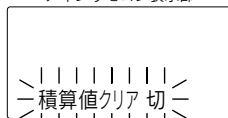


17 ページ

2 確定スイッチ**3**を押す



メインリモコン表示部



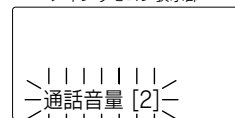
ふろリモコン表示部



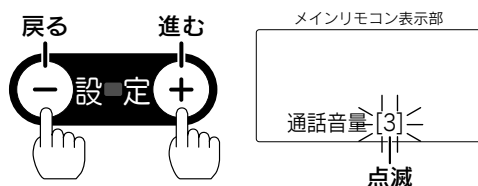
3 選択スイッチ**1**を数回押して「通話音量」を表示させる



メインリモコン表示部



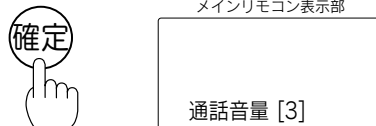
4 設定スイッチ[2]を押す



希望の音量に合わせます。

1 ⇄ 2 ⇄ 3 の順で変更されます。
(小) (中) (大)

5 確定スイッチ[3]を押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。

この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチ[3]を押す

通常の表示に戻ります。
30 秒経過またはふたを閉じることでも通常の表示に戻ります。



お知らせ

- 工場出荷時は「2」に設定しています。
- インターホンの通話音量はリモコンごとに設定することができます。

インターホンの通話方式について

- リモコンの通話方式には「ハンズフリー方式(H)」と「プレストーク方式(P)」があります。

ハンズフリー方式

通話を始めたいときにどちらかのリモコンの通話スイッチを押すと、後は手を離れた状態で通話できます。

メインリモコンの周囲が騒々しいとふろリモコンの通話ランプが点滅して、ふろリモコンからの通話ができないことがあります。

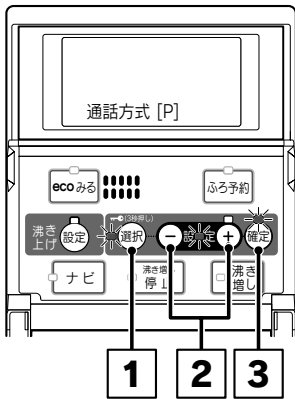
(57 ページの説明がハンズフリー方式での通話方法です。工場出荷時はこの方式に設定されています。設定を変更する場合は 60 ページに従ってください。)

プレストーク方式

通話を始めたいときにどちらかのリモコンの通話スイッチを押し、メインリモコンから浴室に話しかけるときのにはメインリモコンの通話スイッチを押しながら話す方法です。浴室の音を常時メインリモコンでモニターしていますので、ふろリモコンからは通話スイッチを押さなくても話ができます。

メインリモコンの通話ランプは常に点灯していますが通話状態にはなりません。通話するときは通話スイッチを押しながら行ってください。

インターホンの通話方式設定



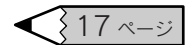
1 選択スイッチ**1**を押して「表示・音設定」を表示させる



メインリモコン表示部



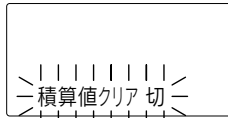
表示・音設定



2 確定スイッチ**3**を押す



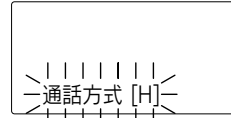
メインリモコン表示部



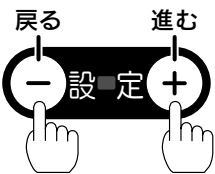
3 選択スイッチ**1**を数回押して「通話方式」を表示させる



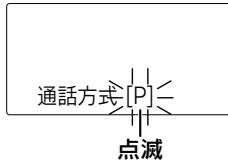
メインリモコン表示部



4 設定スイッチ**2**を押す



メインリモコン表示部



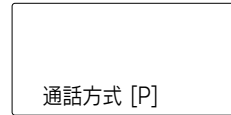
希望の設定に合わせて。

→ H ← P ← と切り替わります。
(ハンズフリー) (プレストーク)

5 確定スイッチ**3**を押す



メインリモコン表示部



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。

この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチ**3**を押す



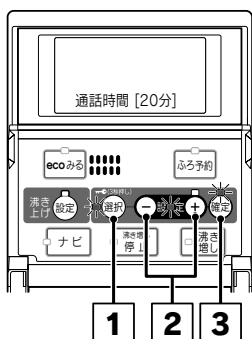
通常の表示に戻ります。
30秒経過またはふたを閉じることで通常の表示に戻ります。

お知らせ

●工場出荷時は「H」に設定しています。

インターホンの通話終了時間設定

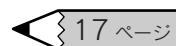
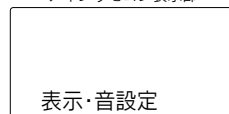
- 通話を始めてから自動的に通話状態が終了するまでの時間を設定することができます。



- 1** 選択スイッチ**1**を押して「表示・音設定」を表示させる



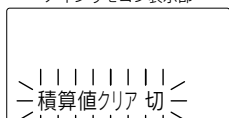
メインリモコン表示部



- 2** 確定スイッチ**3**を押す



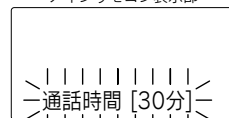
メインリモコン表示部



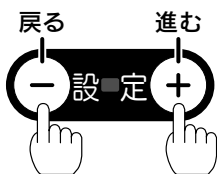
- 3** 選択スイッチ**1**を数回押して「通話時間」を表示させる



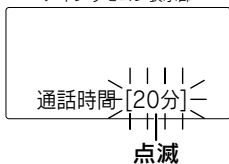
メインリモコン表示部



- 4** 設定スイッチ**2**を押す



メインリモコン表示部



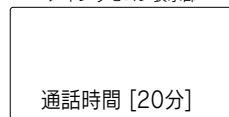
希望の時間に合わせます。

1 ⇄ 5 ⇄ 10 ⇄ 20…60(分)の順で変更されます。

- 5** 確定スイッチ**3**を押す



メインリモコン表示部



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。

この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

- 6** 再度、確定スイッチ**3**を押す



通常の見表示に戻ります。

30秒経過またはふたを閉じることで通常の見表示に戻ります。

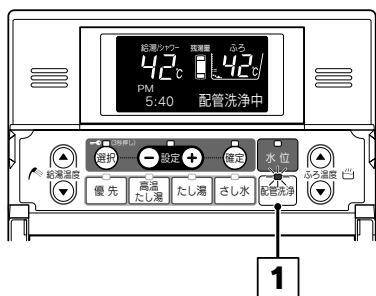
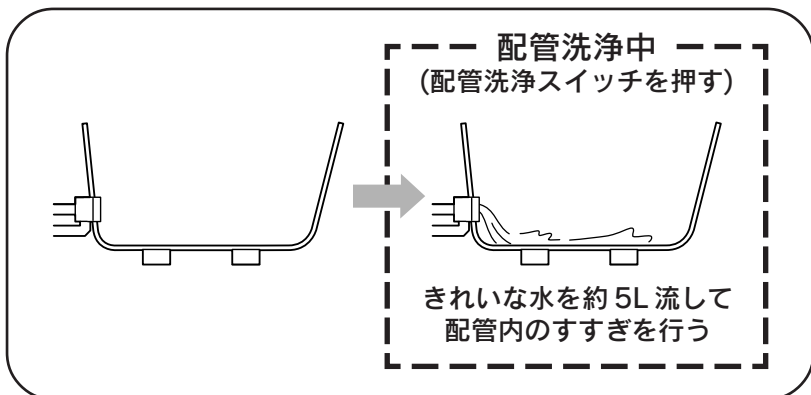
お知らせ

- 工場出荷時は「30分」に設定しています。

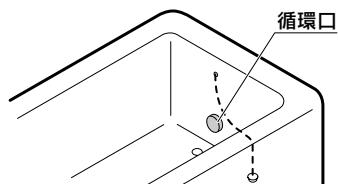
配管洗浄(ふろリモコン)

■配管内の浴水を排水する場合

●浴そうへの配管にきれいな水(約5L)を流して配管内の残り湯を洗い流します。



1 浴そうの水位を確認する



浴そうの排水栓を抜く、または残り湯(水)が循環口より下にあることを確認してください。

2 配管洗浄スイッチ①を押す



音声で「配管を洗浄します」とお知らせし、配管洗浄ランプが点灯します。
ドット表示部に「配管洗浄中」と表示し、配管洗浄を開始します。

3 配管洗浄終了

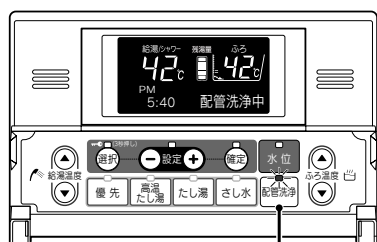
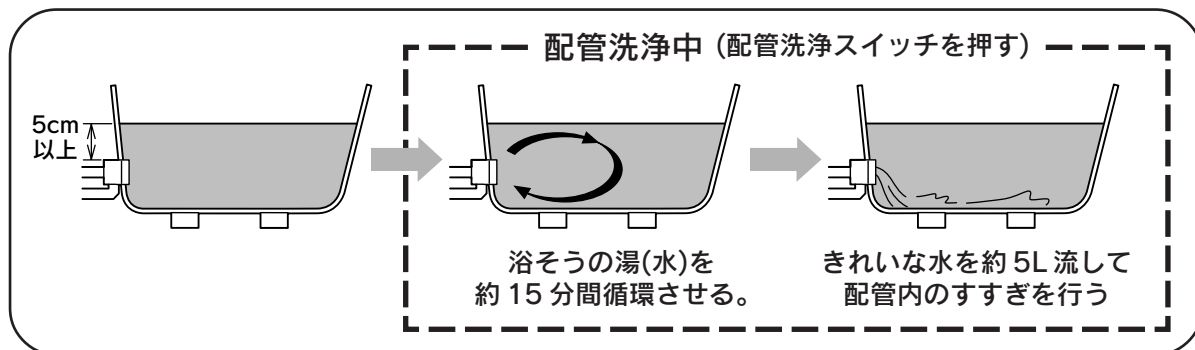
配管洗浄ランプが消灯します。



使用方法

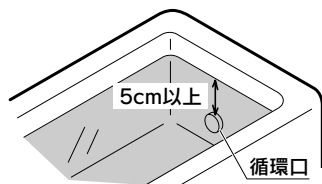
■配管洗浄剤を使用して配管洗浄する場合

●浴そう内の水を循環させ配管を洗浄します。



1

1 浴そうの水位を確認し、当社指定の配管洗浄剤(強制循環式風呂釜用)を入れる



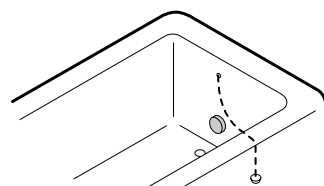
残り湯(水)が循環口より約5cm以上あることを確認し、浴そうに配管洗浄剤を入れてよく溶かしてください。

2 配管洗浄スイッチ①を押す



音声で「配管を洗浄します」とお知らせし、配管洗浄ランプが点灯します。ドット表示部に「配管洗浄中」と表示し、配管洗浄を開始します。

3 配管洗浄終了



配管洗浄ランプが消灯します。残り湯(水)を排水して、浴そうをよく水洗いしてください。

使用上の注意

警告

1 やけどに注意

給湯じゃ口を開くと、熱湯が吹き出ることがあります。やけどに注意してください。

注意

2 安全装置が作動したときは


安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。

70 ページ 

3 感電に注意

漏電遮断器のレバーを濡れた手で触らないでください。また操作部のふたを開いたままにしないでください。雨水やホコリ等が入り、ショート・感電・漏電の原因になります。

4 日常の点検・手入れを行う

71~74 ページ 

停電したとき

- 約 24 時間以内の停電であれば、停電後も現在時刻や設定温度は記憶していますが、現在時刻や設定温度が合っていない場合は設定し直してください。
- 夜間時間帯に停電した場合は、翌朝までに沸き上がらない場合があります。

地震などの被害があったとき

- 機器の被害を確認し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

長期間使用しない場合

- 200V 電源ブレーカは「切」にしないでください。「切」にすると凍結のおそれがあるときに凍結予防装置が作動しません。また、不凍液が沸騰するおそれがあります。
- 1カ月以内の場合は、「数日間運転を停止する方法[停止日数設定]」に従ってください。

29・30ページ

- 1カ月以上使用しない場合で、やむを得ず 200V 電源ブレーカを「切」にする場合は、以下の手順に従って貯湯ユニットとヒートポンプユニットの水抜きを行ってください。
貯湯ユニットとヒートポンプユニットの水を抜く場合は販売店にご相談ください。
- 沸騰防止のために集熱用の不凍液の回収を販売店に依頼してください。

警告

排水時は配管や排水に手を触れないでゆっくり操作してください。熱湯が勢いよく出たり、ホースが熱くなることがありますのでやけどに注意してください。

注意

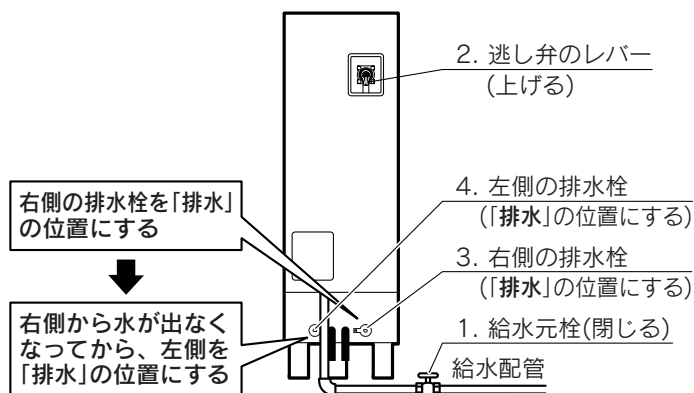
お湯が熱い場合は冷めてから排水してください。

1. 貯湯ユニットの水抜き

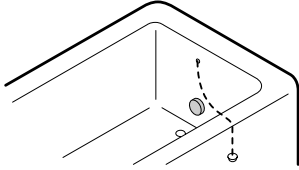
1 メインリモコンの沸き増し停止スイッチを押す



- ### 2
- ・ 給水元栓を閉じる
 - ・ ゆっくり逃し弁のレバーを上げる
 - ・ ゆっくり排水栓を「排水」の位置にして水を抜く



3 浴そうの排水栓を抜く

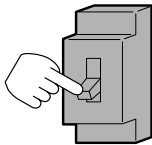


4 ふろリモコンの配管洗浄スイッチを「入」にする

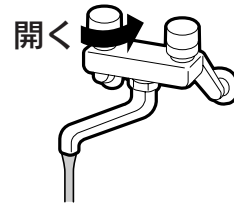


配管洗浄スイッチを押して、配管内の水を出します。

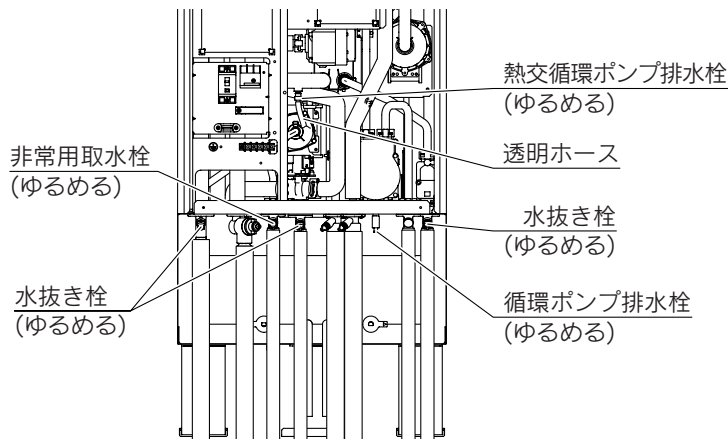
5 200V 電源ブレーカを「切」にする



6 給湯じゃ口を開く

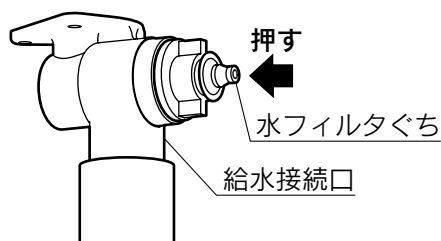


7 前パネルをはずし、熱交循環ポンプ排水栓、循環ポンプ排水栓、水抜き栓(3カ所)、非常用取水栓をゆるめて水を抜く

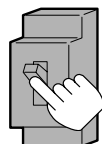


使用方法

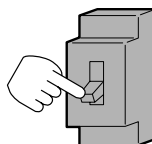
- 8** 排水栓から水が出なくなったら、給水接続口の水フィルタぐちを押して水を抜く



- 9** 200V 電源ブレーカを「入」にする



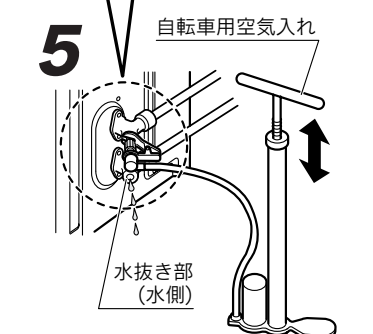
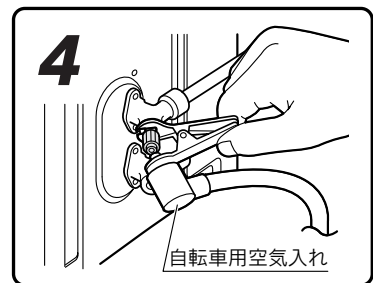
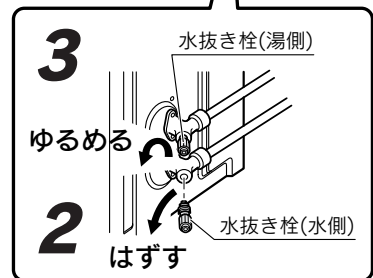
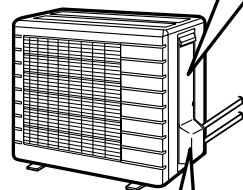
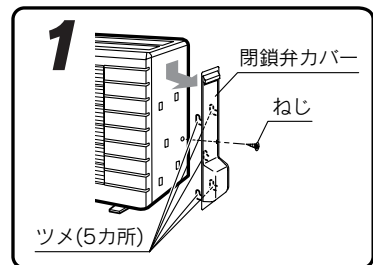
- 10** 約 1 分後に漏電遮断器のレバーを「OFF」にし、200V 電源ブレーカを「切」にする



- 11** 水抜きが終了したら貯湯ユニットの逃し弁のレバーを下げ、給湯じゃ口、循環ポンプ排水栓、熱交循環ポンプ排水栓、水抜き栓(3カ所)、非常用取水栓を閉じ、排水栓を「通常」の位置にして、前パネルを閉じる

2. ヒートポンプユニットの水抜き

- 1 ヒートポンプユニットの閉鎖弁カバーのねじ(1本)をはずし、閉鎖弁カバーを下方へスライドさせ取りはずす
- 2 ヒートポンプユニットの水抜き栓水側(下側)を取りはずす
- 3 ヒートポンプユニットの水抜き栓湯側(上側)をゆるめる(1～2周程度)
- 4 ゆるめた水抜き栓湯側(上側)に自転車用空気入れを取り付ける
- 5 水抜き部(水側)からお湯(水)が出なくなるまで、自転車用空気入れで空気を送り込む(10回程度)
- 6 自転車用空気入れを取りはずし、ゆるめた水抜き栓湯側(上側)を閉じる
- 7 取りはずした水抜き栓水側(下側)を取り付ける
- 8 閉鎖弁カバーのツメ(5カ所)をはめて、上方へスライドさせ、ねじ(1本)を締める



お知らせ

- 配管・バルブなどの凍結予防はできませんので、必ず十分に保温してください。
- 再度使用する場合は販売店にご相談ください。

災害時などにお湯を取り出す

断水時や万一の地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。

警告

お湯が冷めてから取水してください。
熱湯が出たり、ホースが熱くなりやけどをすることがあります。

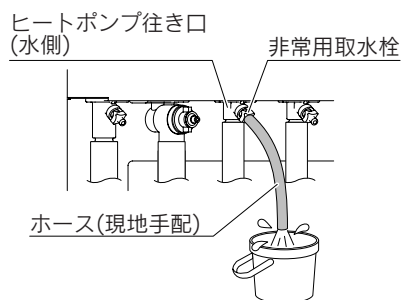
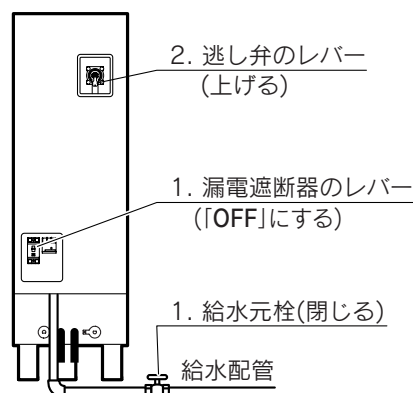
1 操作部のふたを開き、漏電遮断器のレバーを「OFF」にし、ふたを閉じ、貯湯ユニットの給水元栓を閉じる

2 点検口(負圧作動弁付逃し弁)のふたを開き、逃し弁のレバーをゆっくり上げる

3 ヒートポンプ行き口(水側)の非常用取水栓にホース(現地手配)を取り付ける

4 ヒートポンプ行き口(水側)の非常用取水栓をゆるめる

非常用取水栓は3回以上回さないでください。
非常用取水栓がはずれます。
貯湯タンクのお湯(水)をバケツなどで受けて取り出します。
出始めに湯あかやゴミが出ることがあります。



取水が終わったら、

非常用取水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げて点検口のふたを閉じてください。

お知らせ

●再度使用する場合は販売店にご相談ください。

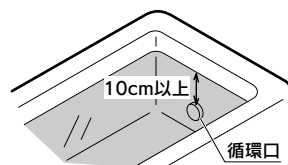
凍結予防

- 冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のために、機器や配管が凍結して破損することがあります。必ず配管の保温工事を行い、冬期には充分注意してください。
- 凍結のおそれがある地域では配管やバルブ類に市販の凍結予防ヒータで充分な保温工事を行ってください。
- 凍結のおそれがある地域の屋外ではユニット間の配管に厚さ 20mm 以上の保温材を使用してください。(配管長 20m 以上で屋外の場合は、厚さ 30mm の保温材を使用してください。)
- ふろ配管の凍結を予防するために、ふろ配管も必ず保温してください。
- 凍結が予測される場合は浴そうの水を抜かないでください。
- 万一凍結した場合は、溶けるまで使用しないでください。
- 屋外温度が約 10℃ 以下の場合、凍結予防のために沸き上げポンプ・循環ポンプ・ヒートポンプユニットが自動的に作動し、お湯が循環します。異常ではありません。

1 凍結予防装置による方法(自動)

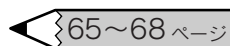
浴そうの水位の確認

必ず循環口より 10cm 以上給水してください。
浴そう内の水を循環させ、機器内のふろ経路とふろ配管の凍結を予防します。



2 水を抜く方法

「長期間使用しない場合」に従って水を抜いてください。



⚠ 注意

冬期に水抜きをしない場合は、漏電遮断器のレバーを「OFF」にしないでください。
凍結して破損し、水漏れするおそれがあります。

安全装置

安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
漏電遮断器	万一漏電したときに自動的に電源を切ります。	お買い求めの販売店にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

⚠️ 注意

- 点検・手入れの際は手袋などの保護具を必ず着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合は販売店にご連絡ください。

点検・手入れの時期、必要項目、方法

毎日

周囲の可燃物



⚠️ 警告

機器の周囲に可燃物や、危険物がないことを確認してください。

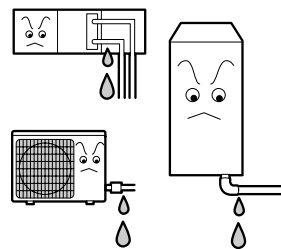


水漏れ



⚠️ 注意

機器、配管などから水漏れしていないことを確認してください。
ただし、沸き上げ中は逃し弁の排水ホースから膨張水が出ます。



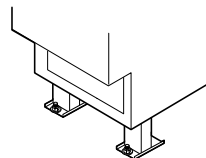
台風シーズンなど

固定状態の確認



⚠️ 警告

台風シーズンや強風が予想されるとき、地震の後は貯湯ユニットのアンカーボルトがゆるんでいないか確認してください。
転倒すると危険です。



1 月に 1 回以上

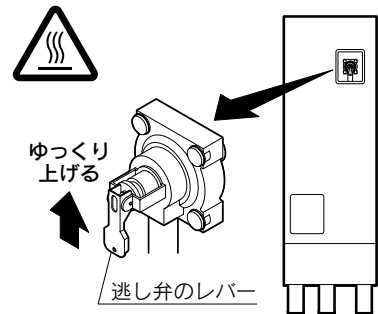
逃し弁の確認



警告

逃し弁のレバーは熱くなりますので、やけどに注意してください。また、レバーを急に上げると熱湯が吹き出ることがありますので、ゆっくり操作してください。

- (1)点検口(負圧作動弁付逃し弁)のふたを開きます。
- (2)逃し弁のレバーをゆっくり上げて逃し弁の排水ホースから水が出ることを確認します。
- (3)レバーを下げて、水が止まることを確認します。
- (4)レバーの上げ下げを数回繰り返して、水アカやゴミを流します。
- (5)点検口(負圧作動弁付逃し弁)のふたを閉じます。

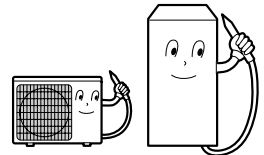


アースの確認



警告

アース線が途中で切れていないか確認してください。
アースが不完全な場合は感電するおそれがあります。

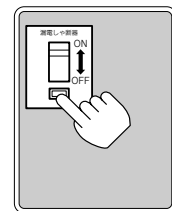


漏電遮断器の作動確認



警告

- (1)アースが接続されていることを確認します。
- (2)操作部のふたを開きます。
- (3)漏電遮断器のテストボタンを押します。
「ON」になっている漏電遮断器のレバーが「OFF」になると正常です。
- (4)正常であれば漏電遮断器のレバーを「ON」にして、操作部のふたを閉じます。



日常の点検・手入れ

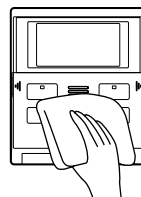
1年に2～3回以上

配管の点検

配管の水漏れ、保温材の破損がないか確認してください。

リモコン

水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナー等は使用しないでください。印刷や塗装がはがれたり、傷の原因となります。



1年に1回以上

貯湯タンクのお手入れ



警告

排水時は配管や排水に手を触れないでゆっくり操作してください。熱湯が勢いよく出たり、ホースが熱くなることがありますのでやけどに注意してください。



注意

貯湯タンクのお湯が熱い場合は冷めてから排水してください。

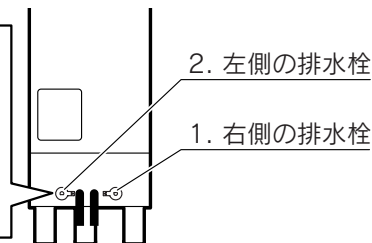
- (1)メインリモコンの沸き増し停止スイッチを押します。(沸き増し停止ランプが点灯します。)
- (2)ゆっくり排水栓を「排水」の位置にして1～2分間排水し、排水栓を「通常」の位置にします。
- (3)メインリモコンの沸き増し停止スイッチを押します。(沸き増し停止ランプが消灯します。)

右側の排水栓を「排水」の位置にする

↓
1～2分間排水し、排水栓を「通常」の位置にする

↓
左側の排水栓を「排水」の位置にする

↓
1～2分間排水し、排水栓を「通常」の位置にする



給水接続口の水フィルタの点検

給水接続口の水フィルタにゴミが詰まると水が出にくくなりますので、販売店に点検を依頼してください。

8～10年に1回以上

循環水の入れ替え

- 不凍液は交換が必要です。お買い求めの販売店に依頼してください。
- 不凍液は当社純正部品の不凍液(濃度50%)を必ず使用してください。外気温-20℃(無風状態)まで凍結しません。不凍液を薄めると故障・能力低下の原因になります。他メーカー品の不凍液を混ぜたり、使用したりしないでください。正常な運転ができないだけでなく、故障の原因になります。

定期点検

- 定期点検のおすすめ(有料)
ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心して長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
なお、給水用具(逆流防止装置)については、(社)日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。
点検は販売店、またはお近くの工場・支店・営業所にご相談ください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

修理を依頼する前に

●次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

現象	説明
お湯も水も出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●断水していませんか。 ●給水元栓を閉じていませんか。 ●凍結していませんか。
お湯がぬるい お湯が足りない	<ul style="list-style-type: none"> ●お湯を使いすぎていませんか。シャワーを使うときや、洗いのものをするときはお湯をこまめに止めてください。 ●出湯配管が水漏れしていませんか。 ●逃し弁のゴミかみにより水が漏れていませんか。 ●排水栓が「排水」の位置になっていませんか。 ●給湯設定温度・沸き上げ設定は適切ですか。 ●沸き上げ中にお湯を使用していませんか。 ●追いだき運転を頻繁にしていますか。 ●残り湯で追いだき運転をしていませんか。 ●前日に☼(はれ)セーブ運転を設定しませんでしたか。ソーラー集熱が充分行われていないとき(午前中など)に、お湯の使用量が多い場合や天気の影響がはずれて集熱できない場合は、夜間に沸き上げたお湯の量では不足することがあります。
汚れたお湯が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●近くで断水や水道工事はありませんでしたか。 ●貯湯タンクのお手入れをしていますか。
お湯から油が出る お湯が臭い	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出ることがありますが、しばらくすると消えます。
お湯が白く見える	●水中に溶けていた空気が分離して白く見えるためです。
ふる自動運転や追いだき運転をするとき、循環口から泡が出る	●機器内のお湯の中に空気が混入したり、水中に溶けていた空気が分離するためです。
高温たし湯スイッチを押しても受け付けない	●給湯じゃ口、シャワーなどを使用していませんか。給湯中は高温たし湯スイッチを受け付けません。
追いだきスイッチを押しても受け付けない	●リモコンに残湯量表示を表示している場合でも、ヒートポンプ側の貯湯タンク内の温度が追いだきができるほど高くない場合は、追いだき運転を受け付けないことがあります。
逃し弁から水が出る	●沸き上げ中は逃し弁の排水ホースから膨張水が出ますが、異常ではありません。
排水配管先からお湯(水)が少しの間出ることがある	●貯湯タンク内の水が沸き始めると水の体積が大きくなり、その分が排水配管先から出ますが、沸き上がると止まります。
リモコンの表面が熱く感じる	●使用中は表示部などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じる場合があります。
リモコン表示が節約モードにならない	●リモコン表示部の節約モードの設定が正しく設定されていないためです。
リモコンのバックライトが暗い、または消灯している	●リモコン表示部が節約モードになっているためです。
リモコンの通話が途切れる	●マイクに水滴がつくと音が伝わらないことがあります。
夜間時間帯になっても沸き上げ運転を始めない	●通電制御型の太陽熱利用自然冷媒ヒートポンプ給湯機は水温と残湯量によってはすぐに沸き上げ運転を行わないことがあります。
夜間時間帯の終了時間よりも早く沸き上がる	●昼間の残湯があるときや☼(はれ)セーブ運転を設定したときは、夜間時間帯の終了時間よりも早く沸き上がる場合があります。

72ページ

73ページ

現 象	説 明
昼間時間帯になっても沸き上げが終了しない	●早朝にお湯を多く使用すると昼間時間帯になっても沸き上げが続くことがあります。
沸き上げ設定が「おまかせ」または「深夜のみ」で湯切れした	●「おまかせ」設定では過去7日間のお湯の使用量からマイコンが湯量を設定します。来客で多量のお湯を使用するなど、使用量が不規則なときは湯切れすることがあります。また「深夜のみ」設定では、冬期やお湯の使用量が多いときは、湯量不足になることがあります。このようなときは沸き増し運転の「満タン」に設定して、しばらくお待ちください。
寒いとき沸き上げポンプ・循環ポンプ・ヒートポンプユニットが動く音がする 使用していないのにポンプが作動する 使用していないのに貯湯ユニットや配管から伝わり音がする	●屋外温度が約10℃以下の場合、凍結予防のために沸き上げポンプ・循環ポンプ・ヒートポンプユニットが自動的に作動し、お湯が循環します。異常ではありません。 ●ふろ自動運転の保温中や追いだき終了後にお湯をかくはんするために、ふろポンプが回ります。
断水のときお湯が出ない	●断水のときは貯湯ユニットに給水されないためお湯が出ません。下記の処置を行ってください。 1. 貯湯ユニットの漏電遮断器のレバーを「OFF」にする。 2. 貯湯ユニットの給水元栓を閉じる。 ●再び使用するときは給水じゃ口から汚れた水が出ないことを確認して貯湯ユニットの給水元栓を開き、給湯じゃ口からお湯(水)が出ることを確認し、漏電遮断器のレバーを「ON」にしてください。
沸き上げ中にヒートポンプユニットが霜で白くなる	●冬期運転中は霜がつくことがあります。
ヒートポンプユニットから水や湯気が出る	●ヒートポンプユニットについた霜を取り除くと、水や湯気となり出てきます。
沸き上げ中にヒートポンプユニットのドレン口から水が出る	●ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水が出てきます。
沸き上げ停止中にヒートポンプユニットのファンが回る	沸き上げが停止した直後 ●保護のため約1分間はヒートポンプユニットのファンが回ります。 沸き上げが停止しているとき ●真夏など外気温度が高いときは保護のためにヒートポンプユニットのファンが回ることがあります。
沸き上げが停止した	●電圧が急に大きく変動した場合は保護のために停止することがあります。約3分後に自動的に運転を再開します。
水が青く見える 浴そうや洗面台が青く変色した	●光の波長の関係で浴そうや水が青く見えることがあります。また、配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して浴そうや洗面用具などが青くなるがありますが、異常ではありません。浴そうや洗面台を中性洗剤で洗ってすすぎをよく行うことで発色しにくくなります。
不凍液オーバーフロー配管からときどき水が出る	●不凍液オーバーフロー配管から結露水が出る場合があります。
天気の良いのに集熱運転しない	●数日間電源を切った場合や停電した場合は、日射によりOMハンドリング内の不凍液が沸騰し、回路中の不凍液が貯湯ユニット内のリザーブタンクに押し出されエアがみ状態となり、集熱運転ができなくなることがあります。お買い求めの販売店にご連絡ください。 ●OMハンドリングが暖房運転を行うとき(冬期・中間期)はソーラー集熱運転を行いません。
☀(はれ)セーブ運転をしているのに夜間の沸き上げ量が多い	●数日間連続して「☀(はれ)セーブ運転」を行うと夜間の沸き上げ量が多くなる場合があります。 ●使用開始当初など日々のお湯の使用量とソーラー集熱量のデータが充分蓄積されていない場合は、「☀(はれ)セーブ運転」をしても夜間の沸き上げ量が多めになります。

エラーコード(警報)表示

エラーコード(警報)はリモコンのドット表示部に表示されます。
エラーコードが表示された場合は77・78ページに従って処置を行ってください。

■貯湯ユニット

	エラーコード	原因	確認・処置	
※1	740	メインリモコン通信異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。	
※1	750	ふろリモコン通信異常		
※2	760	リモコン通信異常		
※4	C04	ソーラー不凍液不足検知		
※3	C31	ソーラー行きサーミスタ異常		
※3	C32	ソーラー戻りサーミスタ異常		
※3	C33	貯湯サーミスタ異常		
※4	C43	ソーラー不凍液水位電極異常		
※4	C59	ソーラー水位オーバー異常		
※2	C64	ソーラーポンプ回転異常		
※2	C69	ソーラー三方弁異常		
※2	E16	給湯高温検知		断水しませんでしたか。
※2	E31	給湯サーミスタ異常		お買い求めの販売店にご連絡ください。
※3	E32	給水サーミスタ異常		
※2	E33	湯とりサーミスタ異常		
※2	E65	給湯混合弁異常		
※2	F00	初回残り湯検知	浴そうの水を一度全部抜いてから、再度ふろ自動運転を行ってください。	
※2	F03	お湯はり時間超過	浴そうの排水栓が抜けていませんか。お湯はり中に断水しませんでしたか。	
※2	F16	お湯はり高温検知	お湯はり中に断水しませんでしたか。	
※2	F25	水流スイッチ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。	
※2	F31	お湯はりサーミスタ異常		
※2	F32	ふろサーミスタ異常		
※2	F43	水位センサ異常		
※2	F45	熱交換ポンプ異常		
※2	F54	ふろ三方弁異常		
※2	F56	お湯はり異常	お湯はり中に断水しませんでしたか。	
※2	F63	ふろ循環異常	浴そうの排水栓が抜けていませんか。	
※2	F65	お湯はり混合弁異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。	
※2	H15	缶体高温検知		
※2	H30	缶体上サーミスタ異常		
※3	H31	残湯量サーミスタ1異常		

	エラーコード	原因	確認・処置
※3	H32	残湯量サーミスタ2異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
※3	H33	残湯量サーミスタ3異常	
※3	H34	残湯量サーミスタ4異常	
※3	H35	残湯量サーミスタ5異常	
※2	H65	湯とり混合弁異常	
※4	H70	電源周波数異常	
※4	P76	制御基板間通信異常	
※2	U45	沸き上げポンプ異常	
※2	U54	沸き上げ三方弁異常	
※4	U4	貯湯ユニット～ヒートポンプユニット間通信異常	
※4	U76		

■ヒートポンプユニット

	エラーコード	原因
※1	E1	制御基板不良
※1	E6	圧縮機起動不良
※1	E7	室外ファンロック
※1	E8	入力過電流検出による停止
※1	EC	出湯温度系異常による停止
※1	F3	吐出管温度制御による停止
※1	FA	ピークカット異常による停止
※1	H0	電圧・電源センサ不良
※1	H3	高圧圧カスイッチ系による停止
※1	H6	位置検出センサ不良による停止
※1	H8	CT系異常検出による停止
※3	H9	外気サーミスタ異常
※3	HC	出湯サーミスタ異常

	エラーコード	原因
※1	HJ	循環水系統不良
※1	J3	吐出サーミスタ異常
※3	J6	熱交温度サーミスタ異常
※3	J8	入水サーミスタ異常
※4	L4	放熱フィン温度異常
※1	L5	出力過電流検出による停止
※3	P4	放熱フィンサーミスタ系異常
※4	U0	ガス欠検出による停止
※1	U2	電源電圧系異常
※4	U4	貯湯ユニット～ヒートポンプユニット間通信異常
※1	UF	貯湯ユニット～ヒートポンプユニット間誤配管検出

警報解除の方法

※1印のエラーコード(警報)は、

《貯湯ユニットの場合》…漏電遮断器のレバーを3秒以上「OFF」にした後、再度「ON」にしてから、制御基板1上のリセットスイッチを押すことで警報解除できますが、時刻設定が必要です。

感電のおそれがあり危険ですので、お客様自身では行わず、お買い求めの販売店にご連絡ください。

《ヒートポンプユニットの場合》…漏電遮断器のレバーを3秒以上「OFF」にした後、再度「ON」にします。

※2印のエラーコード(警報)は、リモコンのふたを開き、確定スイッチを10秒間押し続けることで警報解除できます。警報解除しても直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

※3印のエラーコード(警報)は、正常温度検出で自動復帰します。

※4印のエラーコード(警報)は、正常動作で自動復帰します。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず長府太陽熱利用自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機純正部品(指定された部品)を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

仕様

■システム

形名	HSE-3756GPXHTN	HSE-3756GPXHTNE2[耐重塩害仕様]
集熱方式	空気集熱・強制循環式	
種類	太陽熱利用自然冷媒(CO ₂)ヒートポンプ給湯機	
適用電力制	時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)	
機能	高圧力型フルオートタイプ	
電源	単相200V 50/60Hz(制御電源含む)	
運転範囲	-10℃~43℃	
最大電流	19A	
電源容量	20A	
年間給湯効率	2.9[おまかせ(省エネ設定時)](※1)	
付属品	取扱説明書、取扱ガイド、工事説明書、試運転ガイド、保証書、ドレンソケット	

■貯湯ユニット

形名	HSET-3756GPXHTN	HSET-3756GPXHTNE2[耐重塩害仕様]
設置区分	屋外(防雨)型	
タンク容量	460L(※2)	
貯湯タンク材質	特殊ステンレス鋼板	
消費電力	熱交換循環ポンプ	11W
	ふろ循環ポンプ	80/102W
	沸き上げポンプ	8W
	ソーラー循環ポンプ	12~111W
	制御基板1	5W
	制御基板2	2W
給湯温度	給湯側	約32℃/35℃/37℃~50℃/55℃/60℃
	浴そう側	約35℃~48℃/60℃
沸き上げ温度	[多め]:約75℃~85℃ [深夜のみ]:約65℃、約75℃~85℃ [おまかせ]:約65℃~90℃	
最高使用圧力	190kPa(1.9kgf/cm ²)	
外形寸法	高さ 1,870mm 幅 1,190mm 奥行 495mm	
運転音	給湯時	34dB(A)
	ふろ・追いだき時	36dB(A)
質量(満水時)	112kg(572kg)	
安全装置	漏電遮断器	
電流ヒューズ	制御基板1	ヒューズ 250V 5A
	制御基板2	ヒューズ 250V 5A

■ヒートポンプユニット

形名		EHPE-458	EHPE-458E2[耐重塩害仕様]	
加熱能力	中間期	4.5kW (※3)		
	夏期	4.5kW (※4)		
	冬期高温	4.5kW (※5)		
運転特性	運転電流	中間期	4.9A (※3)	
		夏期	4.6A (※4)	
		冬期高温	7.7A (※5)	
	消費電力	中間期	0.900kW (※3)	
		夏期	0.810kW (※4)	
		冬期高温	1.50kW (※5)	
中間期エネルギー消費効率		5.0 (※6)		
圧縮機電動機出力		0.98kW		
ファン電動機出力		27W		
運転音	中間期	38dB(A) (※3・※7)		
	冬期高温	44dB(A) (※5・※7)		
外形寸法		高さ 735mm 幅 825mm(+74mm) 奥行 300mm		
質量		62kg		
冷媒名		R744(CO ₂)		
電流ヒューズ		ヒューズ 250V 30A ファン電動機用ヒューズ 250V 3.15A		

●この仕様数値は50/60Hz共通です。

●停止しているときも、約5～13Wの電力を消費します。(季節によって数値は変わります。)

外気温度が約10℃以下のときは凍結予防を行うため、さらに約30Wの電力を消費することがあります。

●運転特性はJRA4050規格に基づいた数値です。

※1 年間給湯効率は(社)日本冷凍空調工業会の規格であるJRA4050:2007Rに基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお、掲載値は、省エネモードである「おまかせ(省エネ)」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等により変わります。ソーラー集熱は含みません。

※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で42℃のお湯を一日に約425L使用する条件等を想定したものです。

年間給湯効率＝一年で使用する給湯に係る熱量÷一年間で必要な消費電力量

※2 タンク容量は460Lですが、夜間の沸き上げは最大370Lです。

※3 中間期加熱条件(外気温度16℃DB/12℃WB、給水温度17℃、出湯温度65℃)

※4 夏期加熱条件(外気温度25℃DB/21℃WB、給水温度24℃、出湯温度65℃)

※5 冬期高温加熱条件(外気温度7℃DB/6℃WB、給水温度9℃、出湯温度90℃)

※6 中間期の消費電力1kWあたりの加熱能力を表したものです。

中間期エネルギー消費効率＝中間期加熱能力÷中間期消費電力

※7 運転音は、JRA4050規格に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に 75～78 ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項を見て、今一度確認してください。不具合があるときはご自分で修理せず、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品 名……長府太陽熱利用自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機
2. 形 名…… HSE-3756GPXHTN ・ HSE-3756GPXHTNE2
3. お買い上げ年月日
4. 故障の状況……できるだけ詳しく
5. ご住所、お名前、電話番号
6. 訪問ご希望日

転居または機器を移設する場合

- 転居する場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設は販売店に依頼し、お客様自身で行わないでください。

保証・修理について

この機器には「保証書」がついています

- 正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定によりお買い上げ日より貯湯ユニットの貯湯タンクは5年間、ヒートポンプユニットの熱交換器・コンプレッサーは3年間、上記以外の部品または機能は2年間無料で修理いたします。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯以外の特殊な使用方法でのクレーム発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結やスケール(石灰づまり)による故障の場合は保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品について

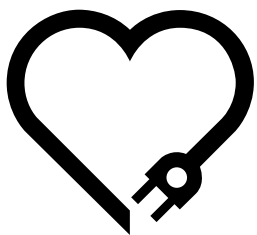
太陽熱利用自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 10 年です

- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

おぼえがき

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
	電話番号		

●記入しておくのと修理などの依頼のときに便利です。

<h2>愛情点検</h2> 	<h3>長年ご使用の機器の点検を！</h3>	
	<h4>こんな症状はありませんか？</h4> <ul style="list-style-type: none"> ●お湯の出が悪い。 ●お湯が早くなる。 ●逃し弁から屋間、常にお湯が出る。 ●ときどき漏電遮断器が働く。 ●その他の異常や故障がある。 	<h4>お願い</h4> <p>このような症状の場合は使用を中止し、故障や事故防止のため技術者による保守点検を受けていただくことをおすすめします。 詳しくは販売店にご相談ください。</p>

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所



●本社 ————— 山口県下関市長府扇町2-1

●お問い合わせ先 —————

本社・営業部	〒752-8555	下関市長府扇町2-1	☎(083)248-1111 FAX(083)248-1906
北海道販売センター	〒003-0809	札幌市白石区菊水九条2-3-1	☎(011)813-2210
盛岡営業所	〒020-0122	盛岡市みたけ5-15-50	☎(019)641-0811
仙台営業所	〒980-0012	仙台市青葉区錦町1-4-6	☎(022)264-0311
宇都宮工場・営業部	〒321-3231	宇都宮市清原工業団地30番	☎(028)667-6111
大宮営業所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町4-16-30	☎(048)653-8111
東京支店	〒160-0022	新宿区新宿5-14-6	☎(03)5369-3511
横浜営業所	〒224-0003	横浜市都筑区中川中央1-36-21	☎(045)912-3111
千葉営業所	〒261-0001	千葉市美浜区幸町2-24-32	☎(043)248-4111
名古屋営業所	〒465-0095	名古屋市名東区高社1-72-1	☎(052)779-2111
金沢営業所	〒921-8550	金沢市玉銚4-17	☎(076)292-3111
滋賀工場・営業部	〒520-2394	野洲市野洲1473-1	☎(077)588-4111
大阪支店	〒564-0053	吹田市江の木町18-27	☎(06)6338-7111
香川営業所	〒764-8510	仲多度郡多度津町東港町7-8	☎(0877)33-2311
岡山営業所	〒700-0976	岡山市北区辰巳3-111	☎(086)245-1111
広島営業所	〒732-0811	広島市南区段原1-1-1	☎(082)261-5111
福岡営業所	〒812-0063	福岡市東区原田4-2-7	☎(092)629-5111
沖縄営業所	〒901-2101	浦添市西原3-18-10	☎(098)877-3111